

# TOTO

**施工説明書**

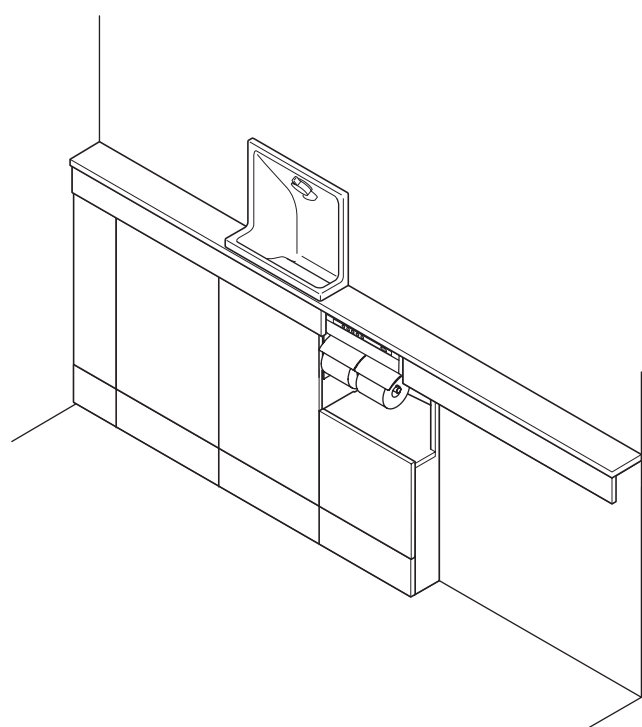
## レストルームドレッサー システムシリーズ

### Sサイズ (ULF 1B/1C)

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

製品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

本書は、左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。



## 商品タイプの確認 2

### 情報編 3

- |              |    |
|--------------|----|
| 1. 安全上のご注意   | 4  |
| 2. 取り付け前のご注意 | 6  |
| 3. 部品の確認     | 14 |

### 手順編 21

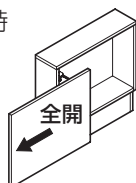
## 工事店様へ

取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。

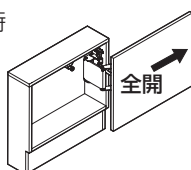
お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。

スライド扉を閉める際、扉が途中で止まる場合は、いったん全開にしてください。

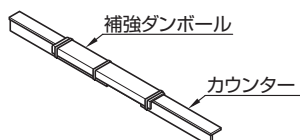
左スライドの時



右スライドの時



カウンターの補強ダンボールは、切欠部保護のため、カウンターを取り付ける直前まで外さないでください。





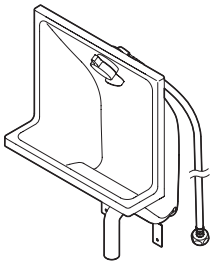
# 商品タイプの確認

商品タイプにより施工手順が異なります。

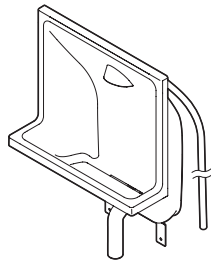
## お施主様のお宅は、どのタイプですか？

### 手洗器

ハンドル式水栓



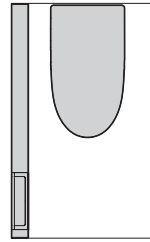
自動水栓



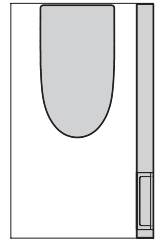
### 手洗器位置

※図は1方エプロン

左勝手



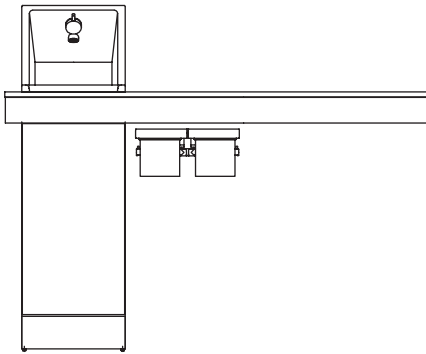
右勝手



## キャビネット

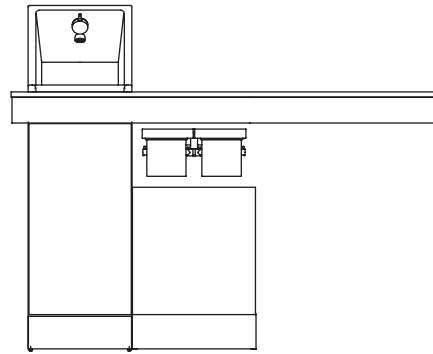
紙巻器下収納なし

品番：ULF1B～



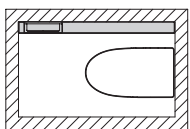
紙巻器下収納あり

品番：ULF1C～

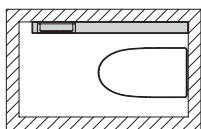


## エプロン形状

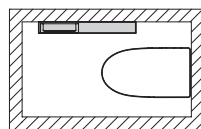
1方エプロン



2方エプロン



3方エプロン



## タイプ

品番：ULF□□□□■～

- A : パッケージタイプ(ショート)
- B : パッケージタイプ(ミドル)
- C : パッケージタイプ(ロング)
- O/1: フリーサイズタイプ

# 情報編

## 1. 安全上のご注意 ▶ 4

---

## 2. 取り付け前のご注意 ▶ 6

**1** 専用大便器 6

**2** 設置寸法 6

**3** 給排水位置 8

**4** 補強材位置 9

**5** 壁開口 10

**6** 電気工事 11

**7** コンセント位置 11

**8** 幅木 13

**9** 窓枠 13

---

## 3. 部品の確認 ▶ 14

---

# 1. 安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。  
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。



**警告**

誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。





してはいけない「禁止」の内容です。






必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 分解禁止	<b>修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない</b> 火災や感電の原因となります。	 ぬれ手禁止	<b>ぬれた手で、スイッチやコンセント部分、電源プラグにさわらない</b> 感電の原因となります。	
	 アース接地		<b>アース(D種接地)工事がされていることを確認する</b> アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。	 水場使用禁止
 <b>警告</b>	<b>水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない</b> 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	<b>器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない</b> 火災や感電の原因となります。 水漏れて家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。		
	 禁止	<b>給水および排水管の真下部にコンセントを設置したり、ウォシュレット用のホースとコンセントを接触させたりしない</b> 結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	<b>電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない</b> 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。	
	<b>指定する電源交流100V以外では使用しない</b> 火災の原因となります。	<b>ガタついているコンセントは使わない</b> 火災や感電の原因となります。		
	<b>電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいまま使用しない</b> 火災や感電の原因となります。	<b>雷が発生しているときは、電源プラグに触れない</b> 感電の原因となります。		
	<b>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない</b> たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。	<b>屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない</b> 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。		
 必ず守る	<b>壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる</b> 取り付け物の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	<b>商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する</b> 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。		
	<b>取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する</b> 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	<b>工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する</b> 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。		
	<b>コンセントは水や小水がかからない位置に設置する</b> コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。	<b>コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する</b> 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。		
	<b>電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く</b> コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	<b>電源プラグは根元まで確実に差し込む</b> 火災や感電の原因となります。		

 <b>警告</b>  必ず守る	<b>機器の設置は専門業者が行う</b> また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。
	<b>手洗器用クッション材の張り付け、シリコン系シール剤の塗布(コーキング)は確実に</b> 水などがキャビネット内に浸入してコンセントにかかり、火災や感電の原因となります。

 禁止	<b>給水ホースが破損するようなことをしない</b> 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。	<b>商品に強い力や衝撃を与えない</b> 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
	<b>止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない</b> 水が噴き出し、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	<b>カウンターの上に乗って作業しない</b> カウンターが破損したり落下したりして、けがの原因となります。
 <b>注意</b>  必ず守る	<b>凍結のおそれがある地域では、配管部材などに保温材を巻く</b> また寒冷地用の場合は「寒冷地用の水抜き方法」を参照し、凍結予防を確実に 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	<b>給水・排水接続は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する</b> 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
	<b>工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する</b> 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	<b>商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する</b> 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。
	<b>ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する</b> 商品が破損し、けがをする原因となります。	<b>商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する</b> 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。
	<b>手洗器・器具周囲のすき間処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する</b> 水が浸入し、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	<b>設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する</b> 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
	<b>水準器を用いて水平に設置する</b> 収納物が落下してけがの原因となります。	<b>カットした面は滑らかに仕上げる</b> 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。
	<b>推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する</b> 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。	<b>金属露出部や鋭利な部位を扱うときは、軍手などを使用する</b> 取り付け時にけがをする原因となります。
	<b>給水フィルター・給水フィルター付水抜き栓を取り付けるときは、接続部やフィルターふたを確実に締める</b> 水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。 <b>※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓を取り付けてください。</b>	<b>【パッケージタイプ(ショート)の場合】</b> <b>必ず角当て材を取り付ける</b> 幕板のエッジにぶつかり、けがをするおそれがあります。

### マーク表示について



寒冷地仕様の場合を示します。



下穴をあけてください。(例:φ3の場合)



けがきをしてください。



電動ドライバー使用禁止です。手締めしてください。



シールテープを巻いてください。



水準器で水平・垂直確認してください。

## 2. 取り付け前のご注意

### 1 専用大便器

レストルームドレッサーシステムシリーズと組み合わせる大便器は、**ビルトインリモコンの設置有無**で異なります。下記に従って、大便器を選択してください。

#### ① ビルトインリモコンを設置する場合

- 必ず右に示す専用大便器を設置してください。
- 専用品以外大便器を設置された場合、ビルトインリモコンは作動いたしませんので、十分ご注意ください。
- 専用大便器の品揃えは右記の2種類です。

#### ② ビルトインリモコンを設置しない場合

一般大便器を設置してください。

#### 専用大便器

ネオレストハイブリッドシリーズ AHW  
(レストルームドレッサー専用品)

ネオレストハイブリッドシリーズ RHW  
(レストルームドレッサー専用品)

### 2 設置寸法

レストルームドレッサーシステムシリーズを快適にご使用いただくためには、以下に示すトイレ寸法を確保してください。ドアとの位置関係を事前にご確認ください。ドアとの位置によってドア枠とカウンターなどが干渉してしまうことがあります。

本図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。

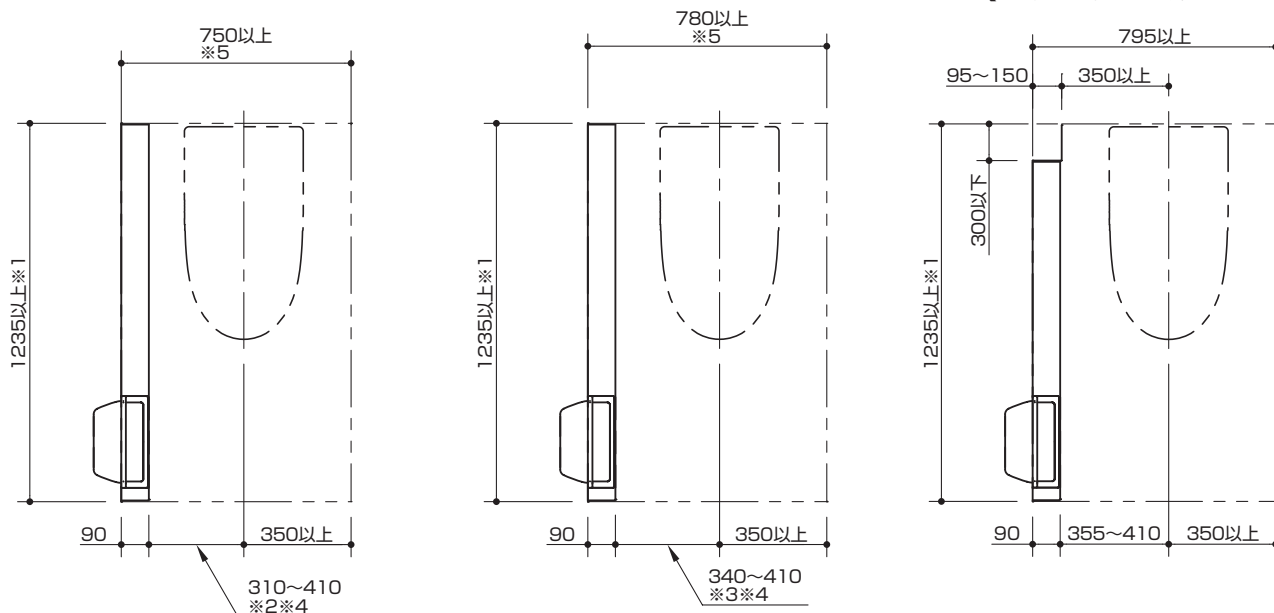
#### ① カウンター側に紙巻器を設置する場合

リモコンを壁に設置する場合は、カウンター側の横壁に設置してください。

#### ① 紙巻器下収納なしの場合

#### ② 紙巻器下収納ありの場合

#### ③ 立管対応の場合 (フリーサイズタイプのみ)



※1 商品タイプや便器によって最小奥行寸法が異なります。

※2 オプションのインテリア・バー、ハンドグリップをカウンター側の横壁に設置する場合は、310～350mmとなります。

※3 オプションのインテリア・バー、ハンドグリップをカウンター側の横壁に設置する場合は、340～350mmとなります。

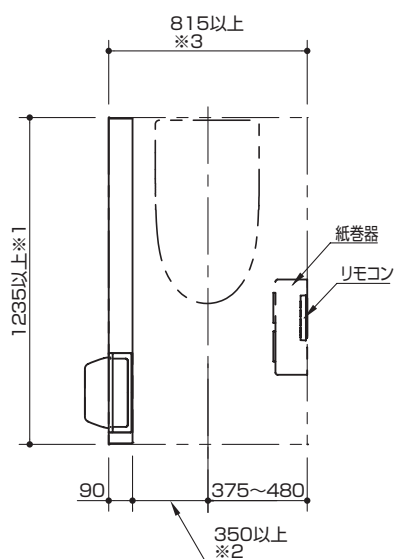
※4 左勝手にピュアレストEX/QRにウォシュレットSBをセットする場合は、410mmとなります。

※5 左勝手にピュアレストEX/QRにウォシュレットSBをセットする場合は、850mm～となります。



**② カウンターと反対側に紙巻器を設置する場合(専用の紙巻器を選択しない場合)**

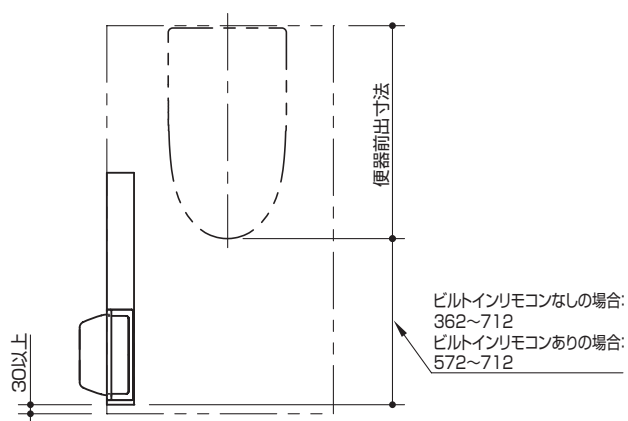
リモコンを壁に設置する場合は、カウンターと反対側の横壁に設置してください。



- ※1 商品タイプや便器によって最小奥行寸法が異なります。
- ※2 カウンター側に立管がある場合は、355mm となります。
- ※3 カウンター側に立管がある場合は、820mm となります。

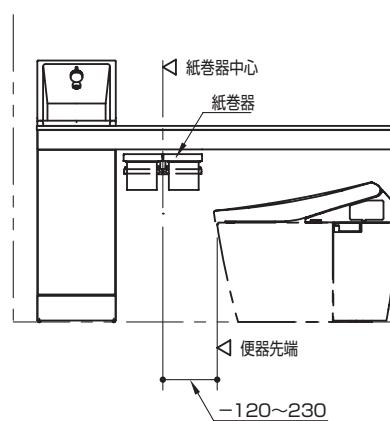
**パッケージタイプ(ショート)の場合**

下記範囲内で商品を設置してください。



**紙巻器設置範囲**

下記範囲内で、プラン図や実際の使い勝手をご確認のうえ、紙巻器を設置してください。



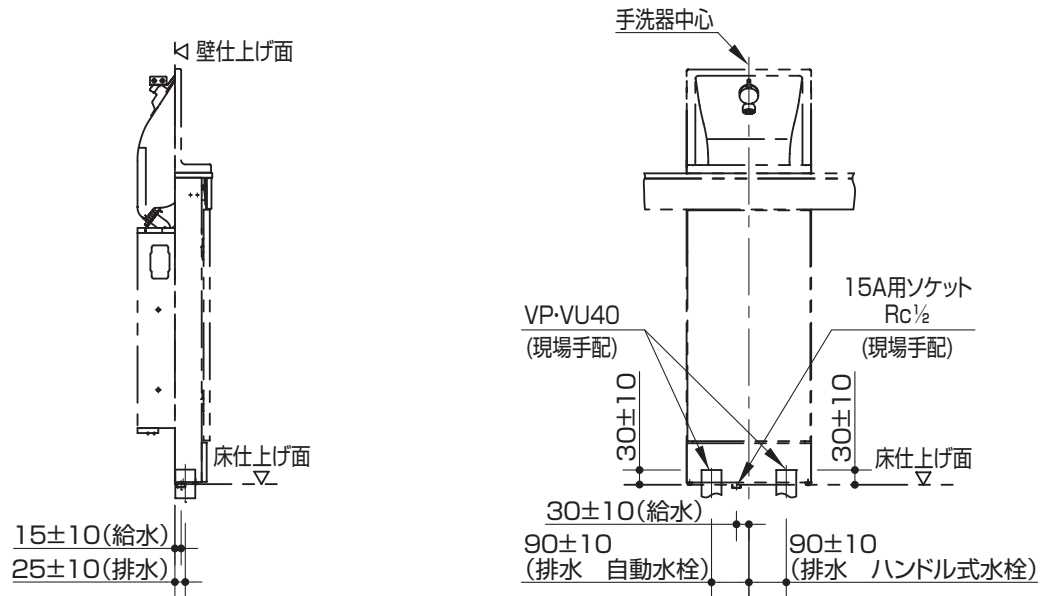
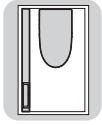
MEMO

### 3 給排水位置

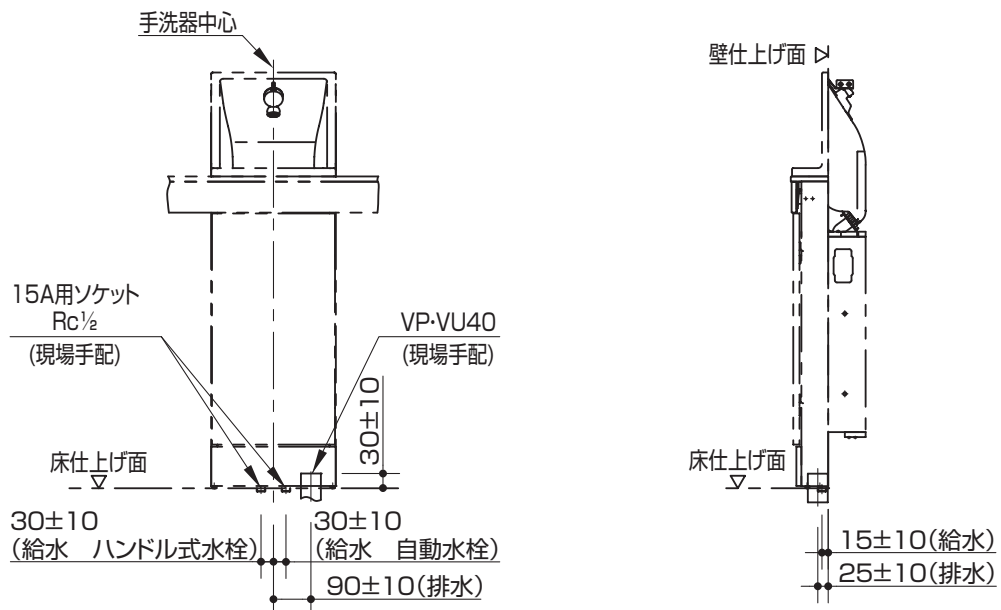
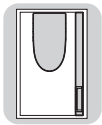
- 設備側給水管の取り出しは壁・床仕上げ面と同一面(±10)とする。
- 設備側排水管の取り出しは壁排水の場合、壁仕上げ面と同一面(±10)とする。  
床排水の場合、床仕上げ面より30±10で取り出してください。
- 電気温水器を設置する場合も同位置になります。
- 給水圧力は、最低必要水圧:0.05MPa(流動時)最高水圧:0.75MPa(静止時)です。  
この圧力範囲でご使用ください。

**参照** 大便器の給排水位置は、大便器の施工説明書をご覧ください。

#### 左勝手



#### 右勝手





## 4 補強材位置(必ず入れる)

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。  
[URL]  
<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm>

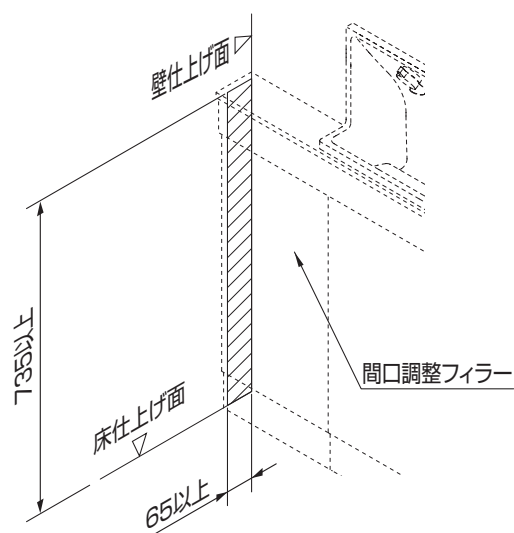
- 建築工事(別途工事)にて、手洗器およびカウンター、周辺部材の壁固定ねじ取り付け位置には、あらかじめt12以上の補強用合板(JAS規格相当品)を壁面に入れておいてください。

合板は受木または間柱などに固定してください。

タイル・コンクリート壁の場合は、固定ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んで固定してください。

### 間口調整フィラーが付く場合

間口調整フィラーを設置する側の側面壁(図の斜線範囲)にも、t12以上の補強用合板(JAS規格相当品)を入れてください。  
合板は受木または間柱に固定してください。



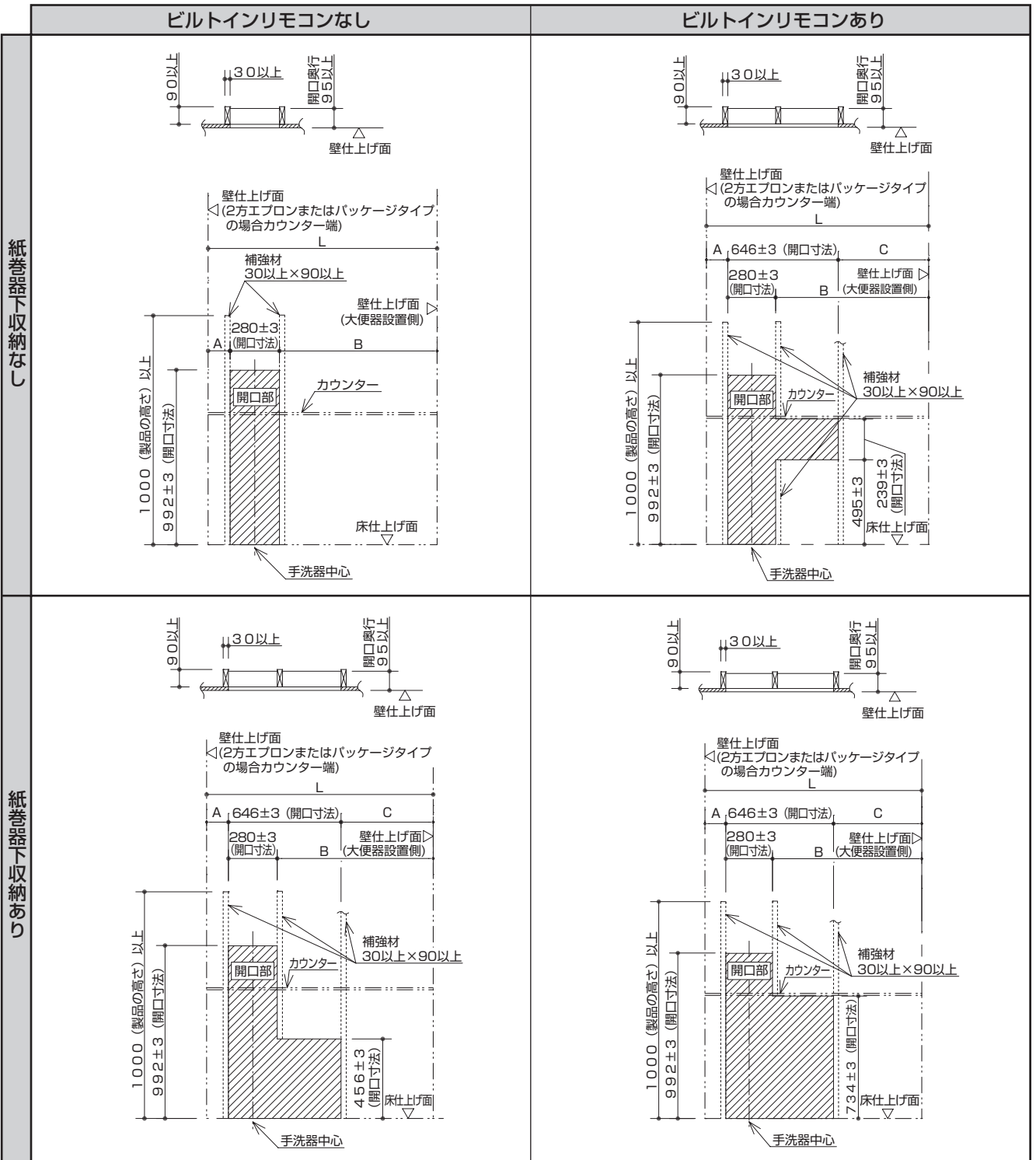
# MEMO

2

取り付け前の注意

# 5 壁開口

埋め込み部材の取り付けに際しては、図に示す位置に、あらかじめ開口が必要となります。  
本図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。



(単位:mm)

エプロン	L	A	B	C
1方	1235~1433	63 ± 3	L-343 ± 3	L-709 ± 3
	1434~1950	L-1370 ± 3	1090 ± 3	724 ± 3
2方	1205~1381	12 ± 3	L-292 ± 3	L-658 ± 3
	1382~1435	65 ± 3	L-345 ± 3	L-711 ± 3
	1436~1920	L-1370 ± 3	1090 ± 3	724 ± 3
パッケージタイプの場合		12 ± 3	L-292 ± 3	L-658 ± 3

## 6 電気工事

各器具および大便器の消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

器 具	定格消費電力 ※1	定格消費電源
電気温水器	505W ※2	AC100V (50/60Hz)
ビルトインリモコン	待機時1W (作動時6W)	
自動水栓	待機時0.4W (最大3W) 作動時0.6W (最大5W)	
専用大便器 (ネオレストAHW/RHW レストルームドレッサー専用品)	一般地1383W (寒冷地1423W)	

※1 一般地：流動方式兼用

寒冷地：ヒーター付便器・水抜併用方式

※2 沸上がり温度約38℃、タンク容量約1L、元止め式の場合

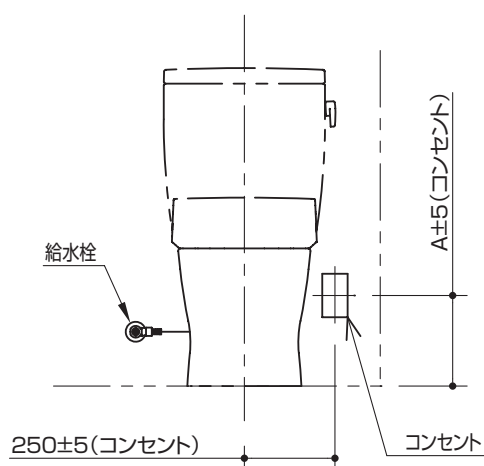
●上表の各器具以外の電気器具を設置する場合は消費電力をご確認のうえ、適切な配線を行ってください。

## 7 コンセント位置

### 大便器側 (参考)

本商品と組み合わせるウォシュレット用のコンセントは、便器を挟んで給水栓と反対側に接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式1口コンセントを設置してください。

※ピュアレストEXおよびQR(ヒーター付便器・水抜併用方式)にウォシュレットを設置する場合は、接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセントを設置してください。



(単位:mm)

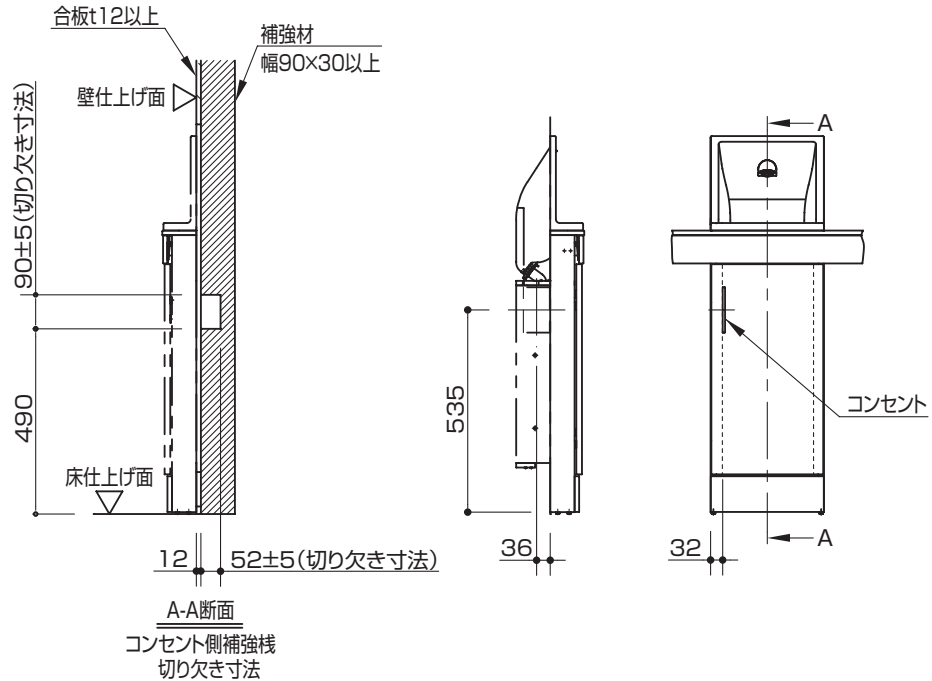
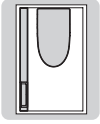
大 便 器	A
ネオレスト AH/AHW・RH/RHW・DH (床排水・壁排水後ろ抜き)	250
ネオレスト AH/AHW・RH/RHW・DH (壁排水左右抜き)	350
GG	250
ピュアレストEX・QR	250

## 手洗器側

●自動水栓・電気温水器・ビルトインリモコンを設置する場合は、図の位置まで配線工事のみを行い、手洗器キャビネット取り付け後に壁埋込式コンセントを設置してください。

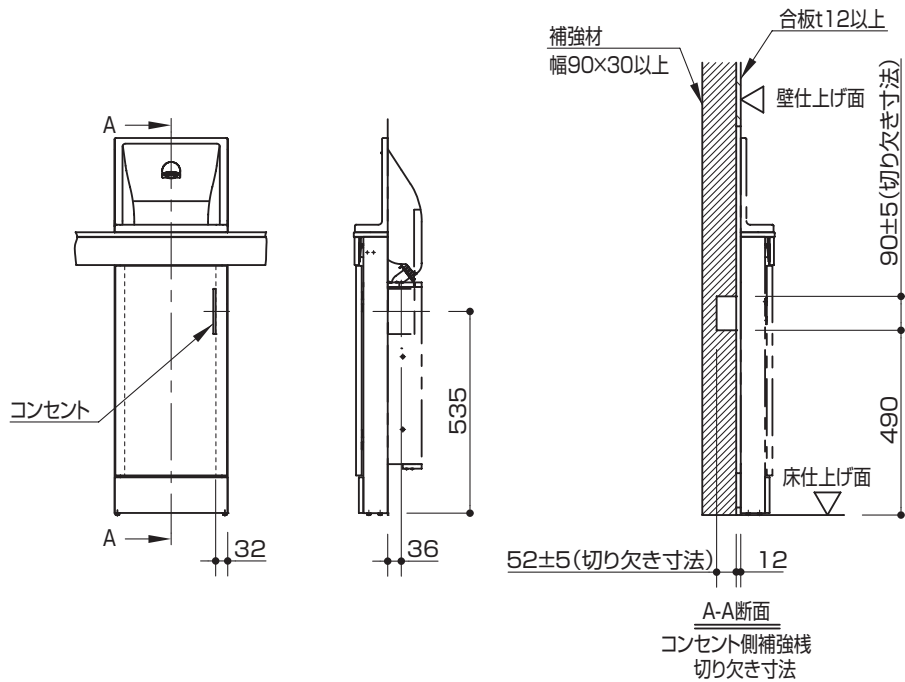
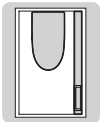
▶▶設置するコンセントの種類は、P.52「**1**電源コンセントの確認」に記載されている一覧表を参照

## 左勝手



## 2

## 右勝手

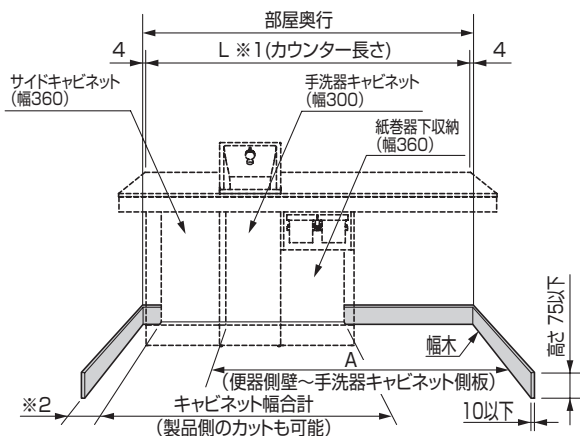


## 8 幅木

キャビネット設置部分の幅木を図のようにカットしておいてください。

※使用する幅木は高さ75mm以下、厚さ10mm以下にしてください。製品と干渉したり、製品側がカットできなくなります。

### 1方エプロンの場合

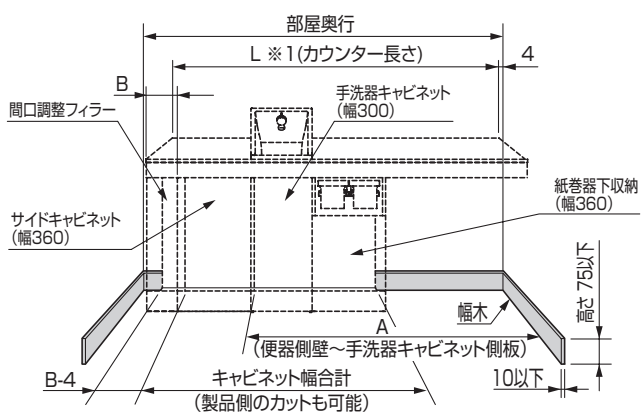


タイプ	エプロン	L ※1	A
フリーサイズ	1方	1227 ~ 1425	L-45
		1426 ~ 1942	1380
	2方	1201 ~ 1377	L+2
		1378 ~ 1431	L-51
パッケージ	2方	1201 (ミドル)	1203
		1378 (ロング)	1380

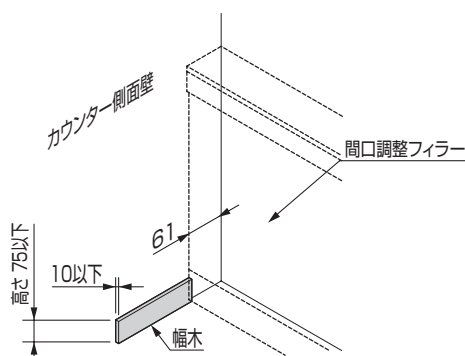
※1 立管がある場合は、カウンター長さ+立管幅です。

※2 間口調整フィラーを設置する場合には、幅木を設置しないでください。

### 2方エプロンの場合

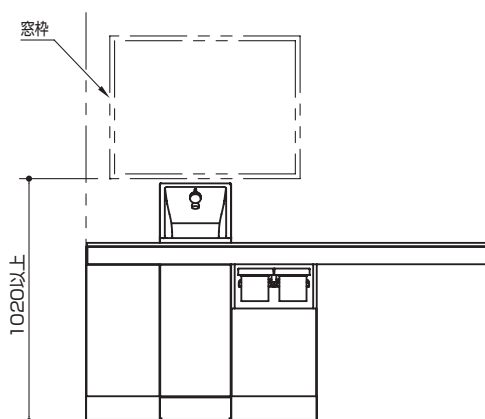


### カウンター側面壁まですき間なく設置する場合



## 9 窓枠

窓がある場合、図のような制約が付きまます。事前に製品と干渉しないように注意してください。

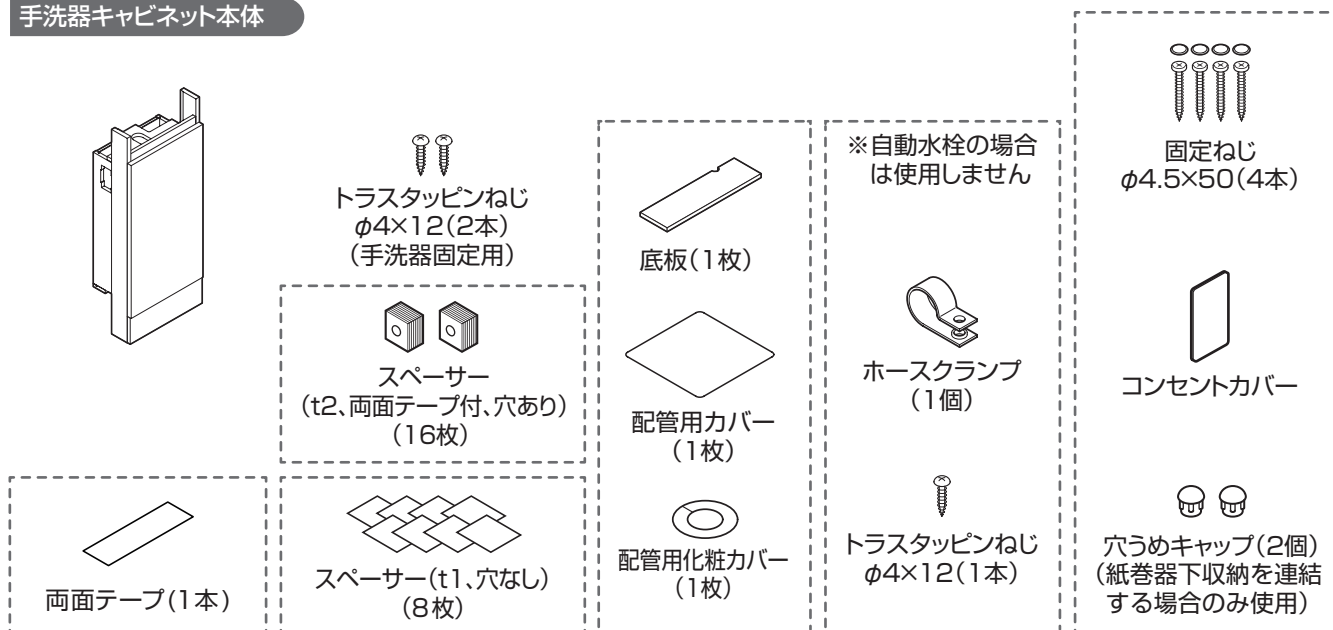


# 3. 部品の確認

・ 包装箱の内容は左勝手を基本として記載しています。

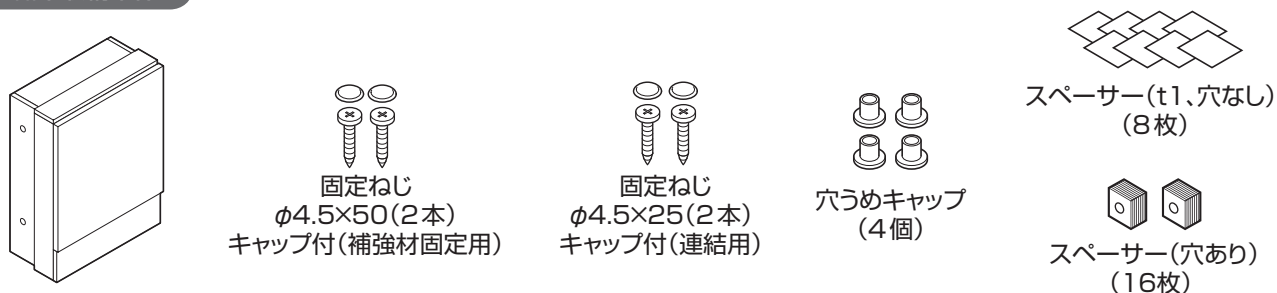
## 手洗器キャビネット

### 手洗器キャビネット本体



## 紙巻器下収納(選択商品)

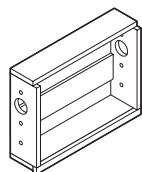
### 紙巻器下収納本体



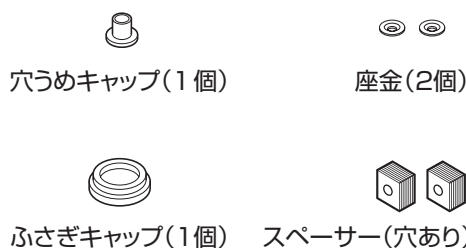
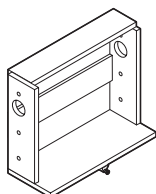
## ビルトインリモコン収納ボックス(選択商品)

### ビルトインリモコン収納ボックス本体

#### 【紙巻器下収納なしの場合】

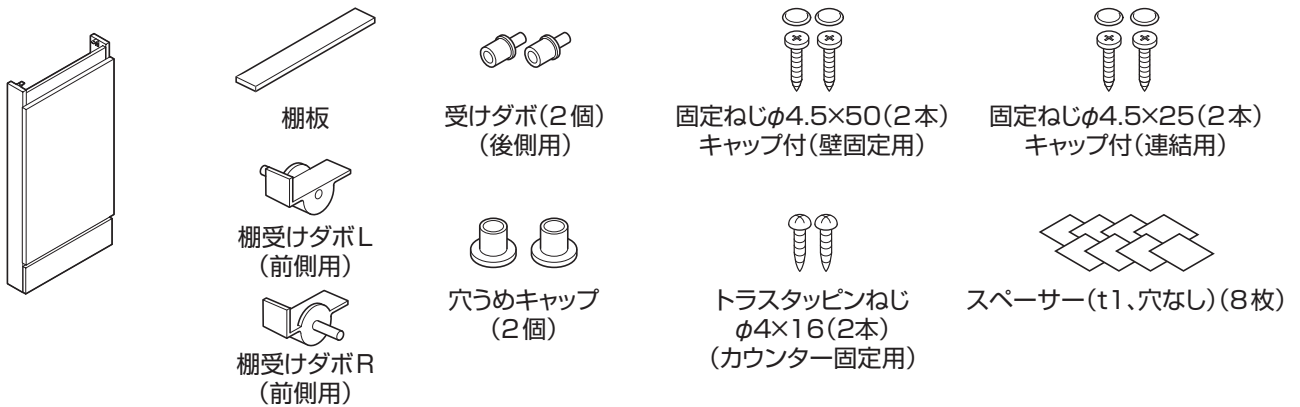


#### 【紙巻器下収納ありの場合】



## サイドキャビネット(オプション)

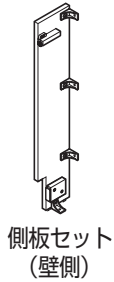
### サイドキャビネット本体



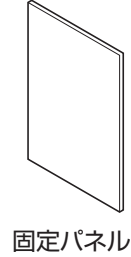
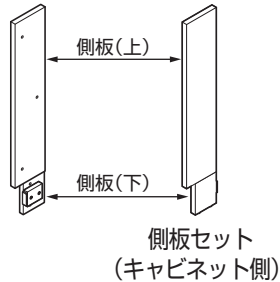
### 間口調整材(オプション)

#### 間口調整フィルア

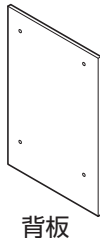
【2方エプロンの場合】



【1方エプロンの場合】



【収納タイプのみ】



ねじ本数		①	②	③	④	⑤	⑥
1方エプロン	固定タイプ	5	5	3	—	—	—
	収納タイプ	2	2	—	3	3	1
2方エプロン	固定タイプ	3	6	3	—	—	—
	収納タイプ	3	3	—	—	3	—

①



トラスタッピンねじ φ4×50 (壁固定用)

②



トラスタッピンねじ φ4×25 (キャビネット用)

③



トラスタッピンねじ φ4×14 (扉固定用)

④



固定ねじφ4.5×50 キャップ付

⑤



固定ねじφ4.5×25 キャップ付

⑥



トラスタッピンねじ φ4×16



スペーサー(t1,穴なし) (8枚)

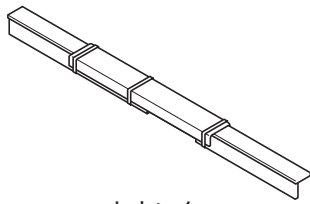
※スペーサー(穴あり)(2枚)は使用しません。



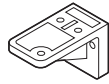
スペーサー(穴あり) (2枚)



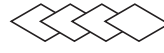
カウンター(プランによってブラケットの個数は異なります)



カウンター  
(補強ダンボールはカウンター  
取り付け時まで外さないでください)



ブラケット



スペーサー(t1、穴なし)  
(ブラケット1個につき4枚)



トラスタッピンねじφ4×50  
(ブラケット1個につき2本)  
(壁固定用)



トラスタッピンねじφ4×16  
(ブラケット1個につき3本)  
(カウンター固定用)

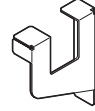
【パッケージタイプ  
(ショート)の場合】



角当て材(1個)



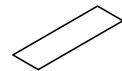
両面テープ(1枚)



金型ブラケット  
(プランにより1個)



トラスタッピンねじ  
φ4×50(2本)  
(壁固定用)

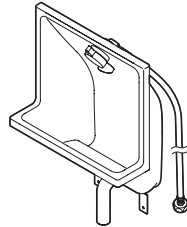


両面テープ(1本)

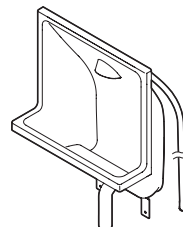
【下記カウンター長さの場合】  
1227~1749(1方エプロン)  
1378~1468(2方エプロン)  
1791~1916(2方エプロン)

手洗器

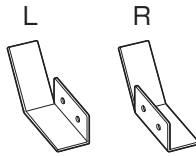
【ハンドル式水栓】



【自動水栓】



手洗器固定金具



手洗器固定金具  
(2個)



トラスタッピンねじ  
φ4×20(6本)



クッション材

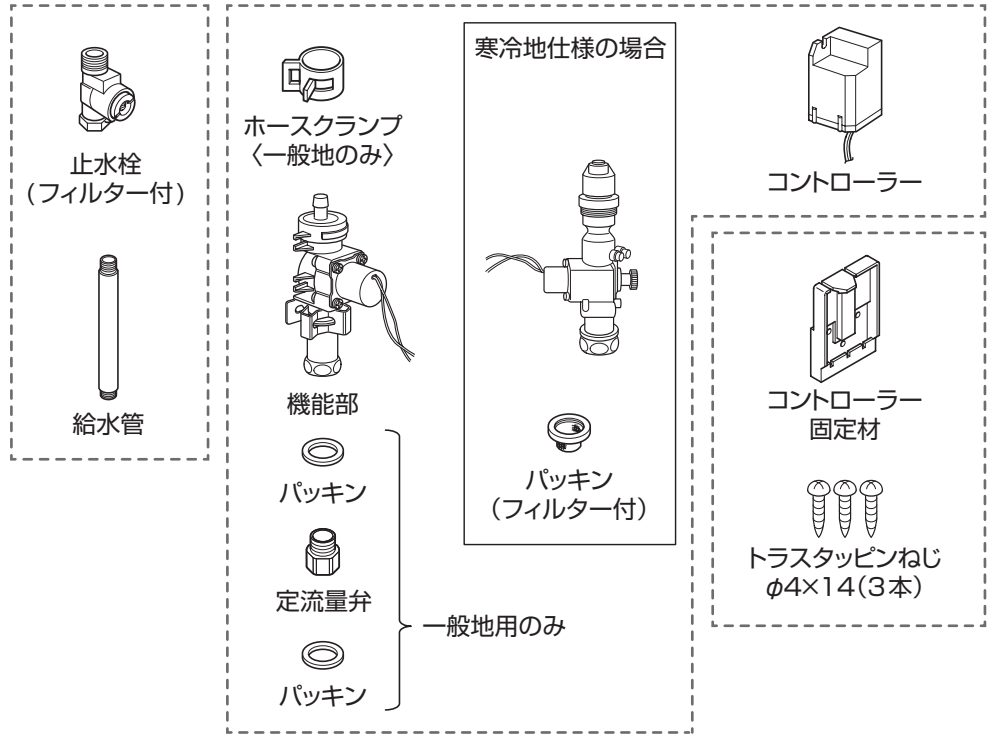
MEMO

## 給排水部材 他(プランによって同梱内容は異なります)

### ハンドル式水栓

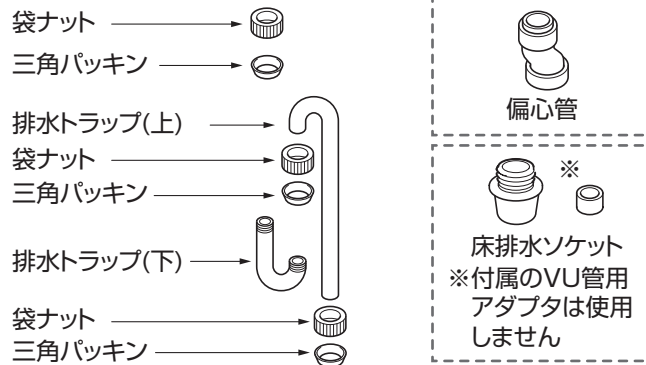


### 自動水栓



※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。  
設置しただけの場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

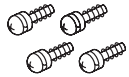
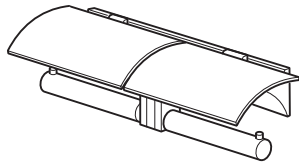
### 排水管トラップセット



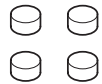
# MEMO

給排水部材 他(プランによって同梱内容は異なります) (つづき)

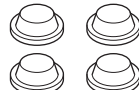
メタル製紙巻器



なべ座金組込小ねじ  
M4×10(4本)



ふさぎふた  
(4個)



クッション材  
(4個)

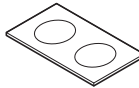


なべタッピンねじ  
φ4×40(4本)



型紙

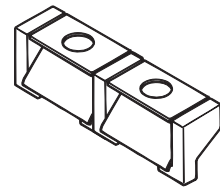
※めっき仕上げの場合のみ同梱。



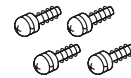
ふさぎシール  
(1枚)

※ビルトインリモコンの設置有無で、使用部材・使用個数が異なります。

樹脂製紙巻器



※ビルトインリモコンがない場合のみ使用します。



なべ座金組込小ねじ  
M4×10(4本)

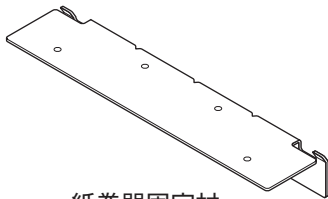
※ビルトインリモコンがある場合のみ使用します。



固定材

紙巻器固定材

※樹脂製紙巻器を選択し、ビルトインリモコンを設置しない場合



紙巻器固定材



皿タッピンねじ  
φ4×40(3本)

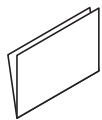
施工説明書



本書



クッション材

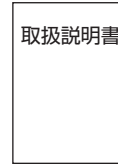


ダイジェスト版



型紙  
(手洗器固定金具)

取扱説明書



取扱説明書  
チラシ



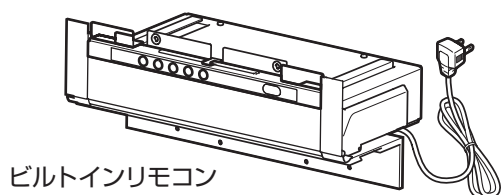
開閉工具



開閉工具

MEMO

## ビルトインリモコン(選択商品)



ビルトインリモコン



化粧板

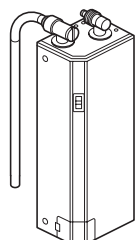


施工説明書



ナベ小ねじ M4×10(2本)

## 電気温水器(選択商品)



電気温水器本体



固定アングル1  
(1個のみ使用)



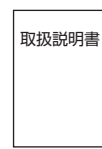
化粧ラベル



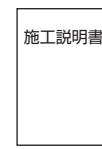
固定アングル用  
座付なべ小ねじ  
M4×10(2本)



L=300  
排水ホース



取扱説明書



施工説明書

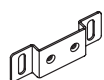


壁固定用木ねじ  
φ4×30(2本)

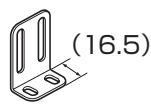
【下記の部品は使用しません】



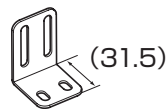
スペーサー  
取付用ねじ  
(M4×5)



スペーサー



固定アングル1



固定アングル2



固定アングル用  
座付なべ小ねじ  
M4×10(2本)



壁固定用木ねじ  
φ4×30(2本)

**必要工具** 一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してから施工を始めてください。



のこぎり



小型のこぎり

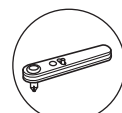


電動ドライバー  
(+)65mm  
#2ビット・#3ビット  
(+)200mm  
#2ビット・#3ビット

電動ドリル用キリ  
φ3、φ4、φ8



シリコーン系  
シール剤



オフセット  
ドライバー(+)



スタビ  
ドライバー(+)



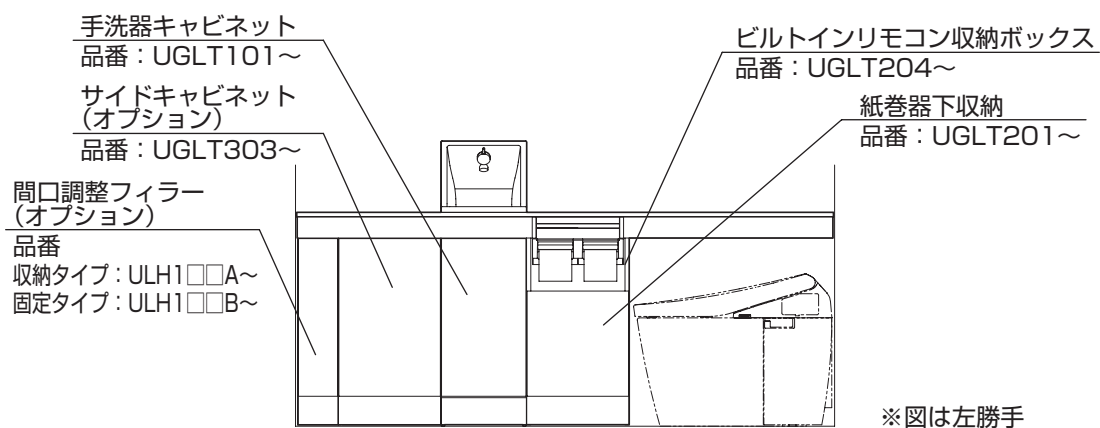
ホルソー  
φ40、60

# MEMO

# MEMO

# 手順編

0. 施工前の準備	▶22
1. 排水ソケット・給水管・止水栓	▶24
2. ブラケット	▶25
3. 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)	▶26
4. 手洗器キャビネット・紙巻器下収納・ビルトインリモコン収納ボックス	▶31
5. カウンター	▶38
6. 手洗器	▶43
7. 給排水	▶45
8. 紙巻器	▶50
9. 試運転・確認	▶52
10. 配管用化粧カバー	▶58
11. シリコン系シール剤	▶58
12. ビルトインリモコン組み合わせ設定	▶59
13. 凍結予防の仕方	▶60



トイレ前方から後方に向かって施工していくイメージです。

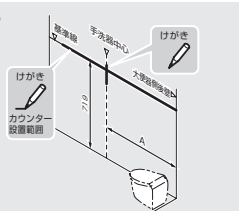
# 0. 施工前の準備

プラン図または以下の情報をもとに、設置位置の基準をご確認のうえ、けがいてください。

## けがく際のご注意

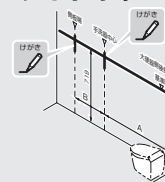
商品取り付け後に、けがき線が露出しないよう、ご注意ください。  
また、鉛筆など後で消せるものでけがいてください。

### 1 基準線・キャビネット上端線・手洗器キャビネット中心位置をけがく



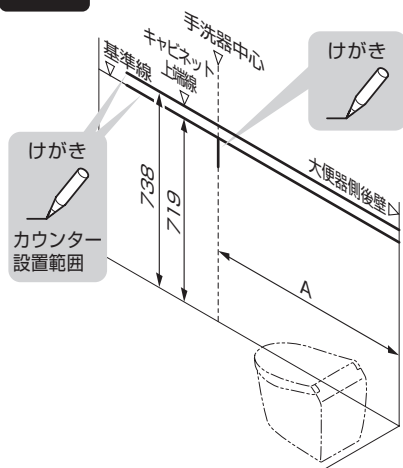
▶P.22

### 2 間口調整フィラー・背板・サイドキャビネット設置基準をけがく



▶P.22

## 1 基準線・キャビネット上端線・手洗器キャビネット中心位置をけがく

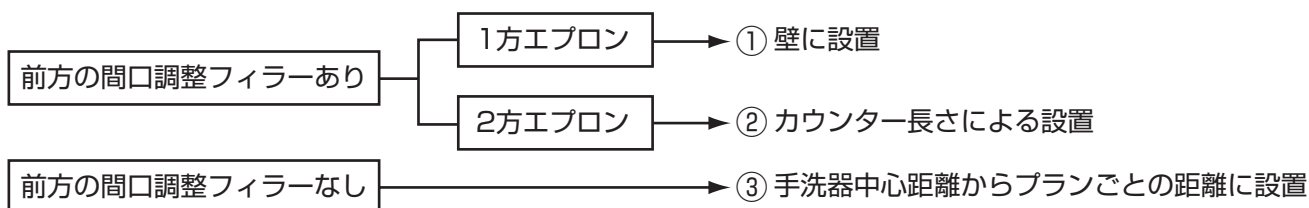


手洗器中心 (A寸法)

		カウンター長さ X	壁から手洗器中心(A寸法)
片扉手洗器 キャビネット	1方エプロン	1227~1425	X-195
		1426~1942	1230
	2方エプロン	1201~1377	X-148
		1378~1431	X-201
	1432~1916	1230	

## 2 間口調整フィラー・背板・サイドキャビネット設置基準をけがく

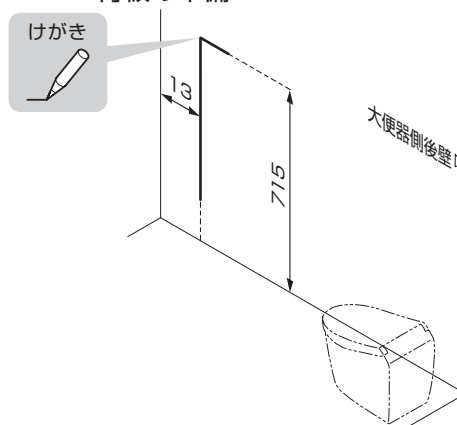
### プラン別による選択肢



#### ①壁に設置

壁にあわせて設置するタイプのものは、けがきは不要です。

【間口調整フィラー(収納タイプ)の場合】  
背板の準備



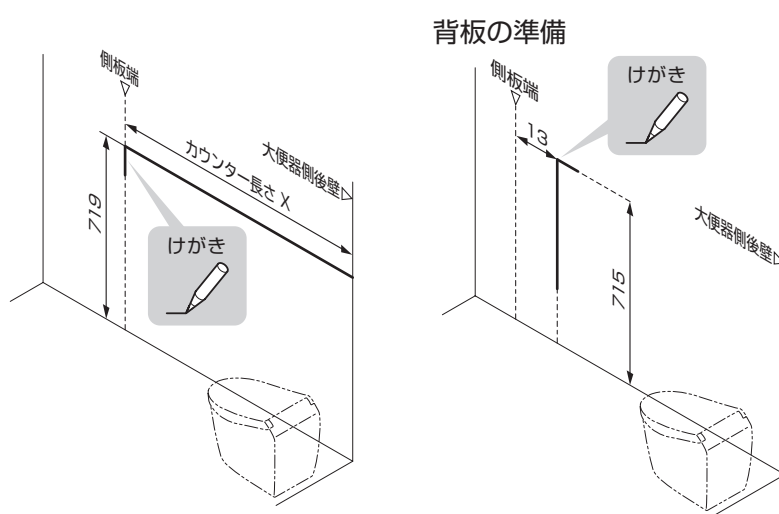


## ②カウンター長さによる設置

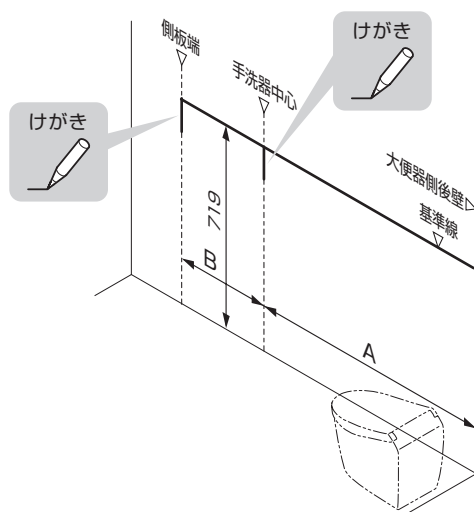
カウンター長さXの位置でけがきます。

(例：カウンター長さ 1680の場合はXが1680となる)

【間口調整フィラー(収納タイプ)の場合】



## ③手洗器中心距離からプランごとの距離に設置



		サイドキャビネット(前)	プラン図	けがき位置 (B寸法)
片扉手洗器 キャビネット	1方エプロン	あり		510
		なし		150
片扉手洗器 キャビネット	2方エプロン	あり		510
		なし		150

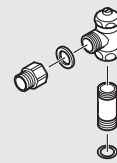
# 1. 排水ソケット・給水管・止水栓

## 1 排水ソケットの取り付け



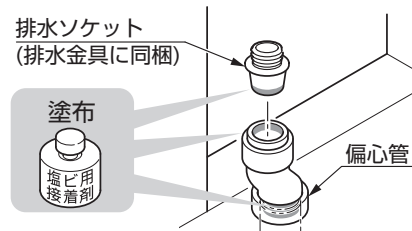
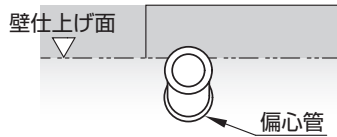
▶P.24

## 2 給水管・止水栓の取り付け



▶P.24

## 1 排水ソケットの取り付け



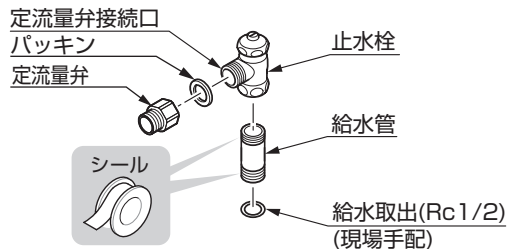
## 2 給水管・止水栓の取り付け

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓を取り付けてください。

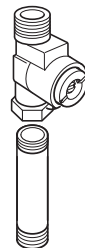
### 1 給水管内の清掃

取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

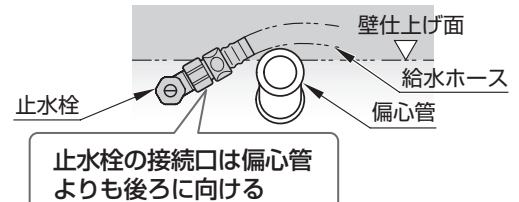
#### 【ハンドル式水栓】



#### 【自動水栓】



#### ハンドル式水栓の場合



⚠ 注意

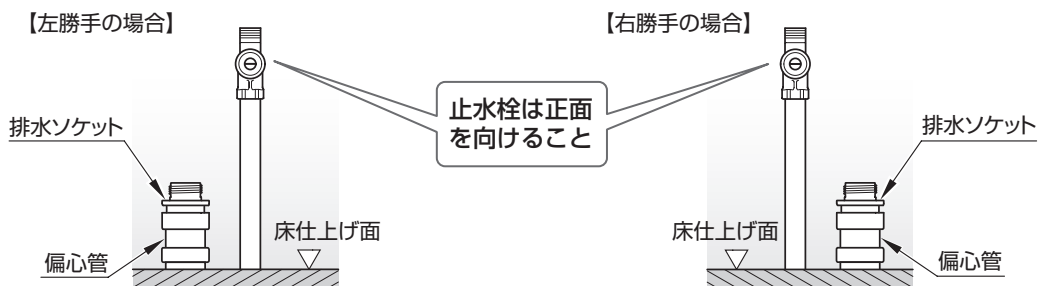


定流量弁を必ず付ける

水はねして家財などをぬらす  
財産損害発生の原因となります。

必ず守る

#### 自動水栓の場合



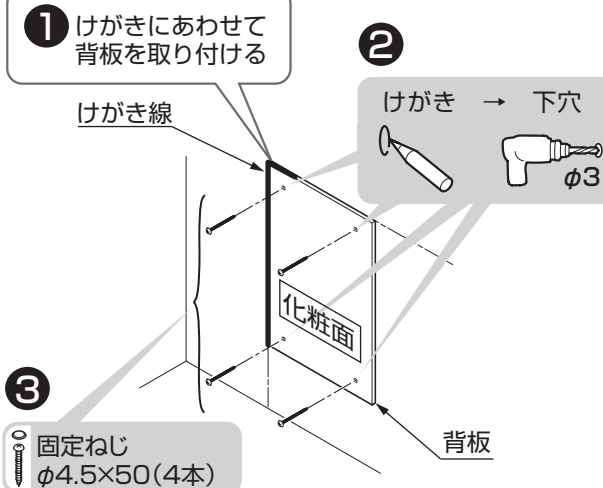
止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

※設置だけの場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

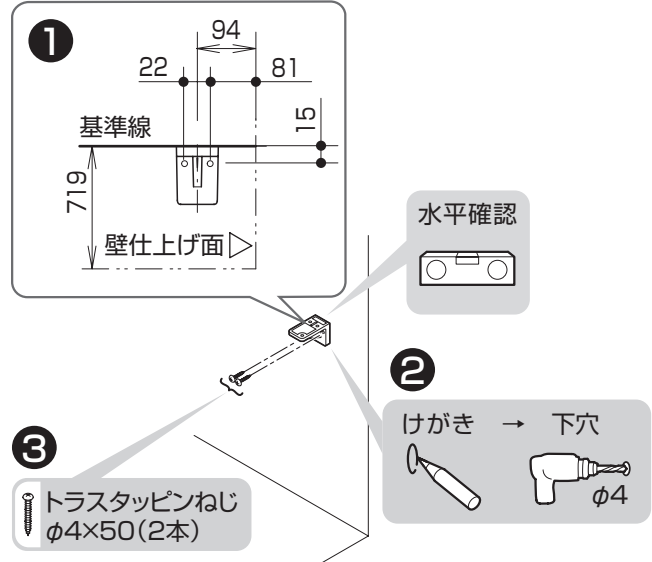
## 2. ブラケット

### 1 ブラケットの取り付け

#### 間口調整フィラー(収納タイプ)



※プランによってブラケットの位置・個数が異なります。  
※使用しないブラケットが生じる場合があります。

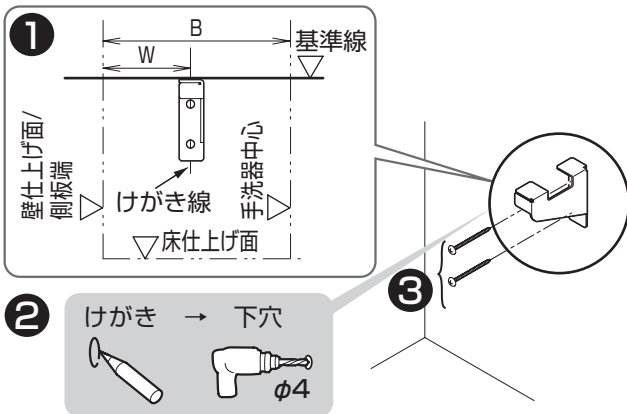


#### 前方にブラケットがつく場合

##### 【金属ブラケット(ブラケット小)※1】

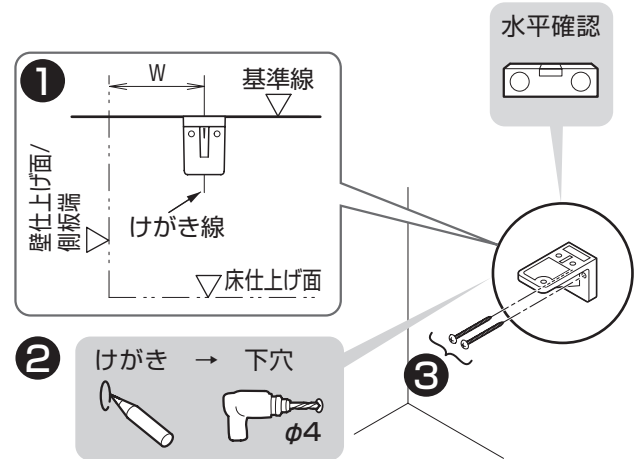
トラストッピンねじ  
φ4×50(2本)

▶▶ B寸法は、P.23を参照



##### 【樹脂ブラケット※2】

トラストッピンねじ  
φ4×50(2本)

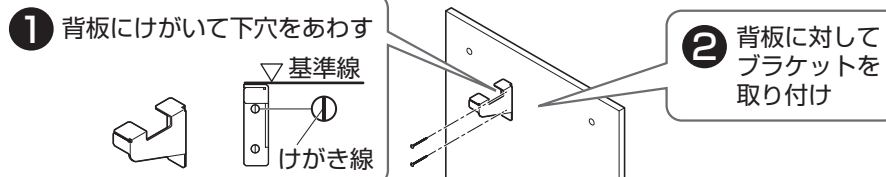


W寸法	1方エプロン	2方エプロン
金属ブラケット(ブラケット小)	B-166	33
樹脂ブラケット	79	62

※1 カウンター長さ: 1227~1479(1方エプロン)、  
1378~1468(2方エプロン)、  
1791~1916(2方エプロン)  
※2 カウンター長さ: 1480~1521(1方エプロン)、  
1469~1790(2方エプロン)

#### 間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

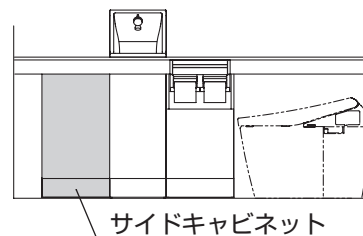
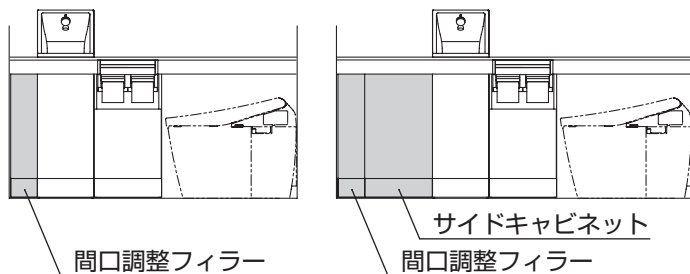
トラストッピンねじ  
φ4×50(2本)



# 3. 間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

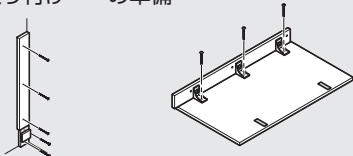
間口調整フィラーありの場合

サイドキャビネットありの場合(間口調整フィラーなし)



間口調整フィラーありの場合

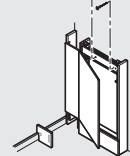
**1** 側板(壁側)の取り付け + 側板(キャビネット側)の準備



▶ P.26

間口調整フィラー・サイドキャビネットありの場合

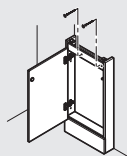
**2** サイドキャビネット・蹴込板・扉の取り付け



▶ P.28

サイドキャビネットありの場合

**1** サイドキャビネットの取り付け



▶ P.30

間口調整フィラーありの場合

**1** 側板(壁側)の取り付け + 側板(キャビネット側)の準備

間口調整フィラー(固定タイプ)の場合

1方エプロンの場合

トラスタッピンねじ  
φ4×50(5本)

垂直確認

側板(上) 押し当てる

基準線

水平確認

**1**

けがき → 下穴



押し当てる

側板(下)

**2**

2方エプロンの場合

水平確認

垂直確認

けがき線

基準線

**2**

トラスタッピンねじ  
φ4×50(3本)

**3**

トラスタッピンねじ  
φ4×25(1本)

**1**

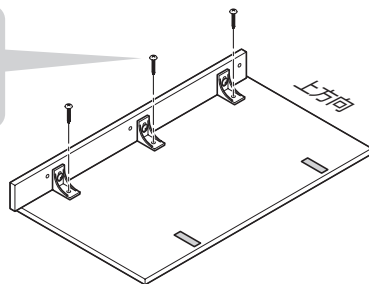
けがき → 下穴



4

トラスタッピンねじ  
φ4×14(3本)

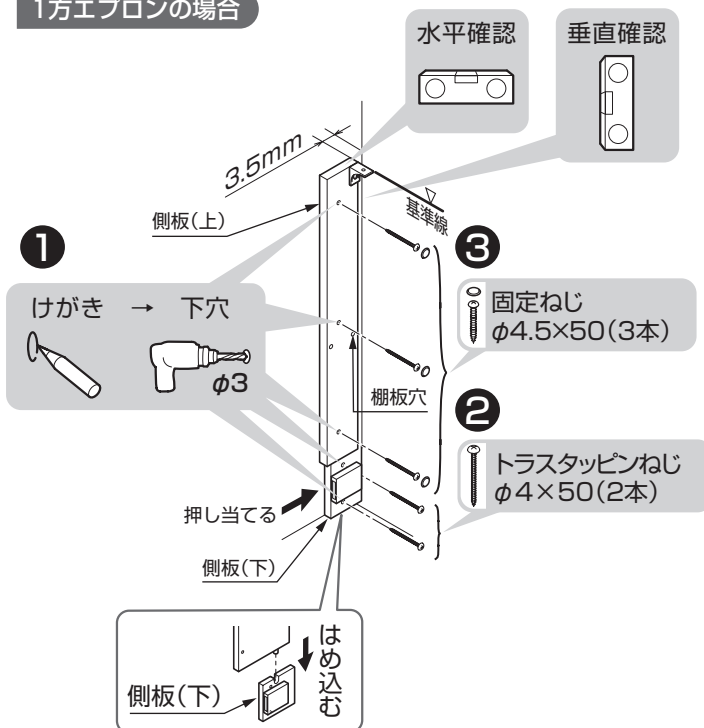
手締めで



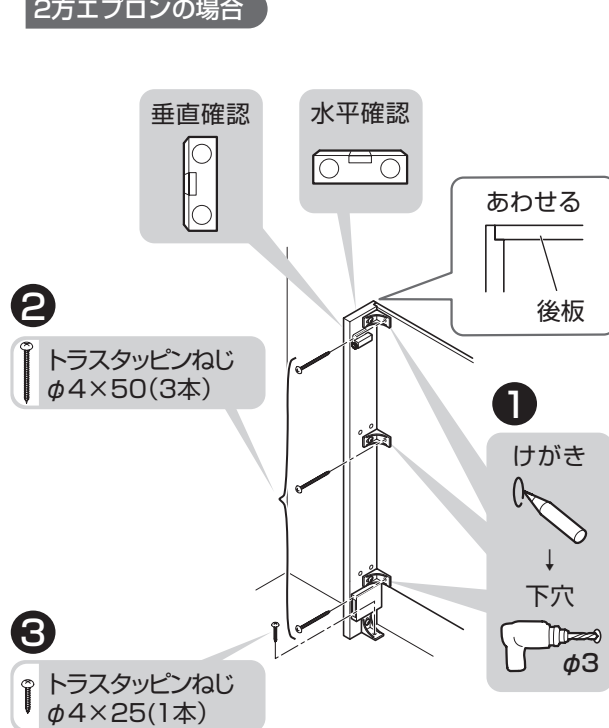
間口調整フィラーがない場合は、P.30へ

### 間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

#### 1方エプロンの場合



#### 2方エプロンの場合



# MEMO

3

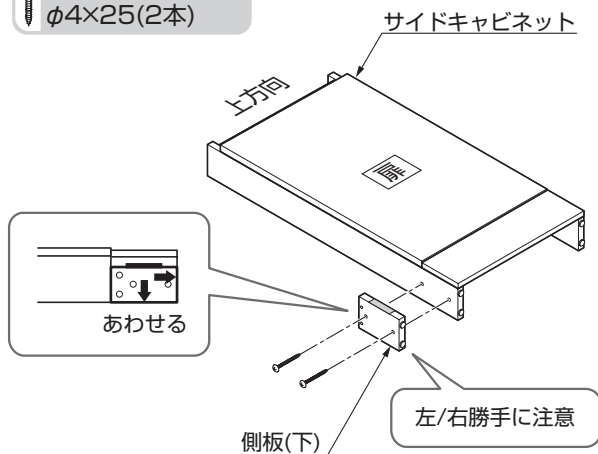
間口調整フィラー・サイドキャビネット(オプション)

## 間口調整フィラー・サイドキャビネットありの場合

## 2 サイドキャビネット・蹴込板・扉の取り付け

## サイドキャビネットの場合

1

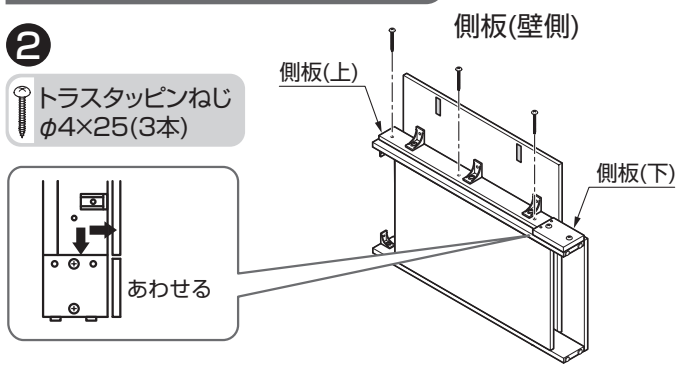
トラスタッピンねじ  
φ4×25(2本)

## 側板位置決め目安

	収納タイプ	固定タイプ
側板(上)	キャビネット側板の前あわせ	キャビネット扉の前あわせ
側板(下)	キャビネット側板の後ろあわせ	キャビネット側板の後ろあわせ

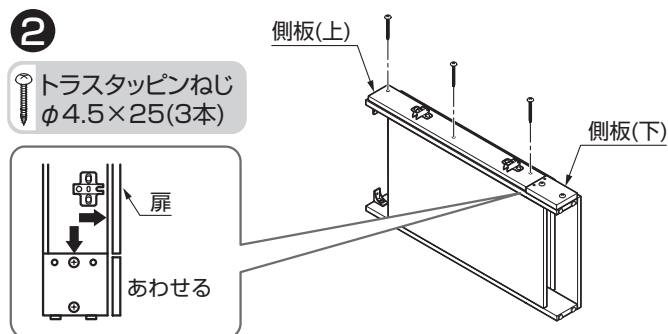
## 間口調整フィラー(固定タイプ)の場合

2

トラスタッピンねじ  
φ4×25(3本)

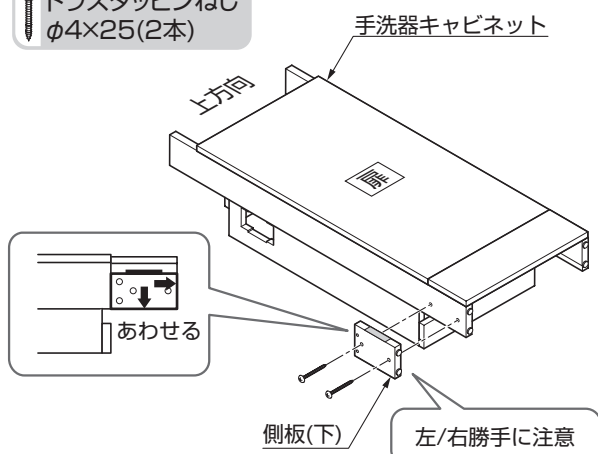
## 間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

2

トラスタッピンねじ  
φ4.5×25(3本)

## 手洗器キャビネットの場合

1

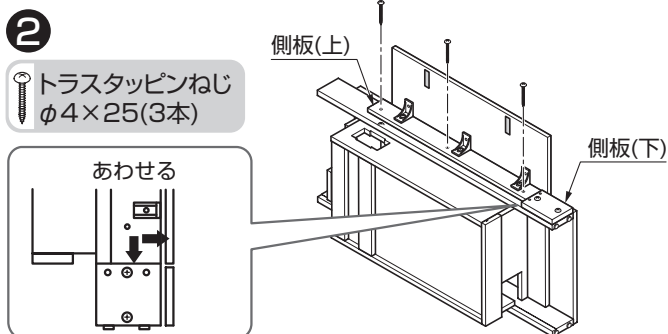
トラスタッピンねじ  
φ4×25(2本)

## 側板位置決め目安

	収納タイプ	固定タイプ
側板(上)	キャビネット側板の前あわせ	キャビネット扉の前あわせ
側板(下)	キャビネット側板の後ろあわせ	キャビネット側板の後ろあわせ

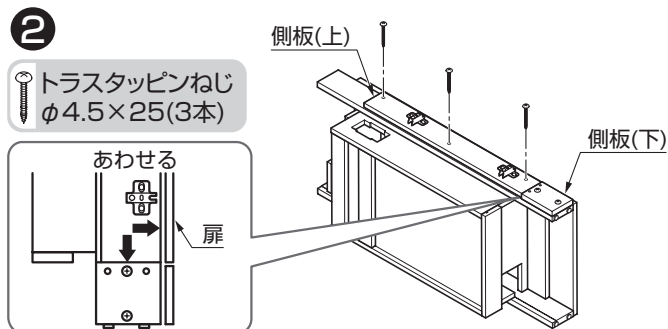
## 間口調整フィラー(固定タイプ)の場合

2

トラスタッピンねじ  
φ4×25(3本)

## 間口調整フィラー(収納タイプ)の場合

2

トラスタッピンねじ  
φ4.5×25(3本)

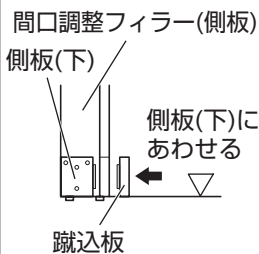
手洗器キャビネット取り付けに関して、P.31へ



間口調整ファイラー(固定タイプ)

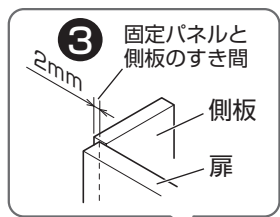
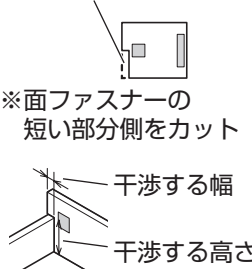
固定ねじ  
φ4.5×50 (2本)

7 蹴込板を取り付ける



【幅木がある場合】

幅木と干渉する場合は幅木分カットする



5 けがき → 下穴



【幅木がある場合】

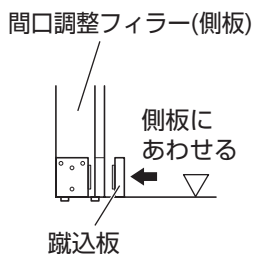
キャビネットまたは幅木をカット

4 足の下にスペーサー(t1) (穴なし)で調整

間口調整ファイラー(収納タイプ)

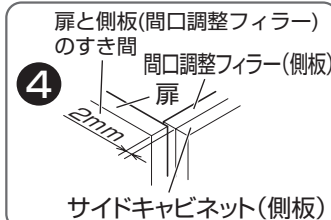
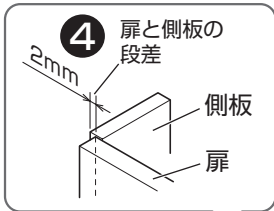
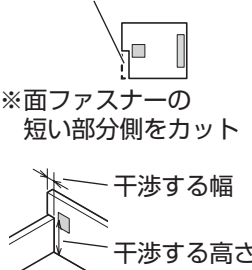
固定ねじ  
φ4.5×50 (2本)

9 蹴込板を取り付ける

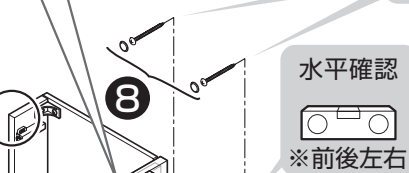


【幅木がある場合】

幅木と干渉する場合は幅木分カットする



6 けがき → 下穴



【幅木がある場合】

キャビネットまたは幅木をカット

7 足の下にスペーサー(t1) (穴なし)で調整

3 押し込む

10 棚受けダボ・棚板を取り付ける



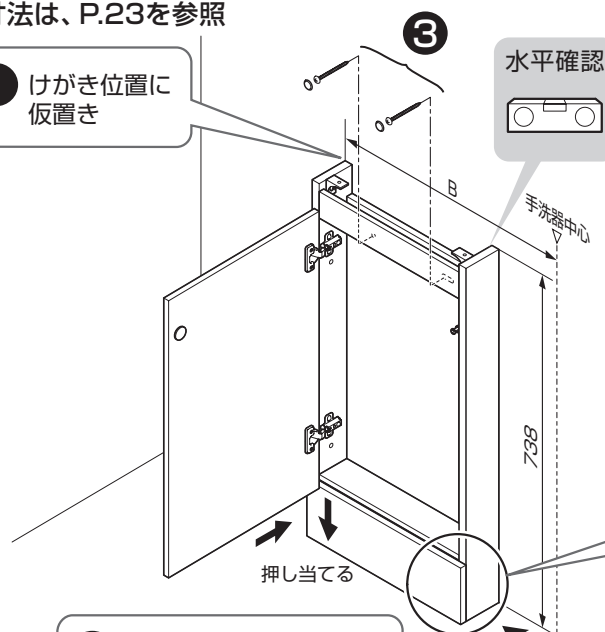
## サイドキャビネットありの場合

## 1 サイドキャビネットの取り付け

固定ねじ  
φ4.5×50(2本)

▶▶▶ B寸法は、P.23を参照

1 けがき位置に  
仮置き



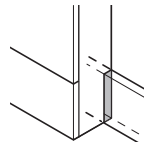
水平確認

手洗器中心

押し当てる

2 足の下にスペーサー(t1)  
(穴なし)で調整

【幅木がある場合】



キャビネット  
または幅木を  
カット

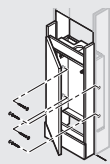
4 棚受けダボ・棚板を取り付ける

MEMO

# 4.手洗器キャビネット・紙巻器下収納・ビルトインリモコン収納ボックス

手洗器キャビネット  
の場合

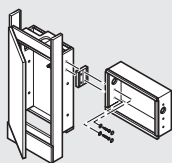
## 1 手洗器キャビネットの取り付け



▶P.31

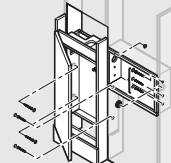
手洗器キャビネット・  
ビルトインリモコン  
収納ボックスの場合

## 1 部材の組み立て



▶P.32

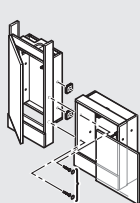
## 2 部材の取り付け



▶P.33

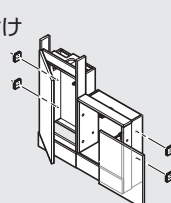
手洗器キャビネット・  
紙巻器下収納の場合

## 1 部材の組み立て



▶P.34

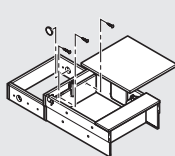
## 2 部材の取り付け



▶P.34

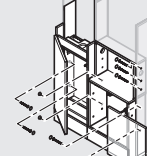
手洗器キャビネット・  
紙巻器下収納・ビルトイン  
リモコン収納ボックスの場合

## 1 部材の組み立て



▶P.35

## 2 部材の取り付け



▶P.35

## 手洗器キャビネットの場合

### 1 手洗器キャビネットの取り付け

水平確認



ポイント

**スペーサーは必ず  
貼り付ける**

ねじ固定時にキャビネット  
が変形する原因となります。

② 開口部とのすき間を均等に  
あわせスペーサーを張り  
付ける

すき間

すき間

① 仮置き

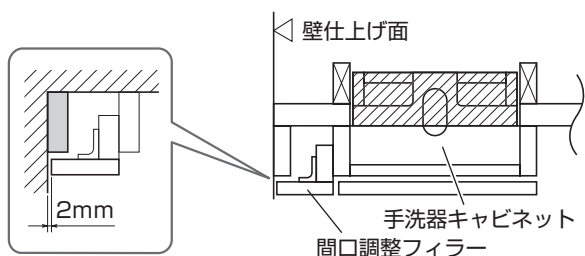
③ 足の下にスペーサー(t1)  
(穴なし)で調整

4

手洗器キャビネット・紙巻器下収納・ビルトインリモコン収納ボックス

## 間口調整フィラーのみの場合

- 4 壁と間口調整フィラーの隙間を2mmにする

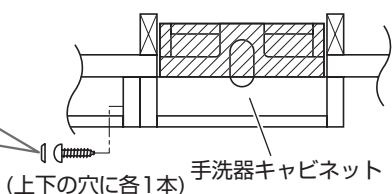


## 間口調整フィラーがある場合は、P.37へ

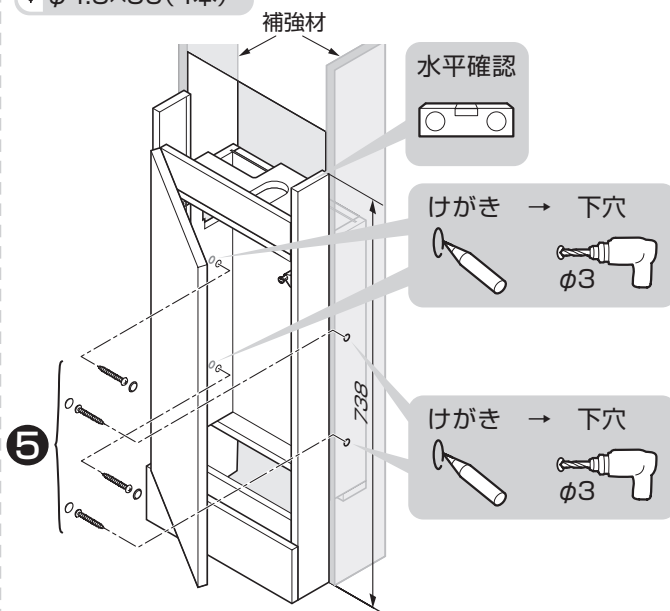
- サイドキャビネットがある場合 ※間口調整フィラー+サイドキャビネットの場合も同様

- 固定ねじ  
φ4.5×25(2本)

- 4 サイドキャビネットと手洗器キャビネットを連結する



- 固定ねじ  
φ4.5×50(4本)



## ポイント

ねじを締めすぎない

キャビネットの変形する原因となります。

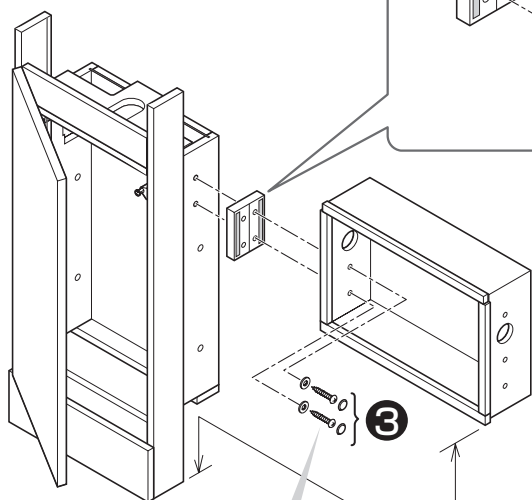
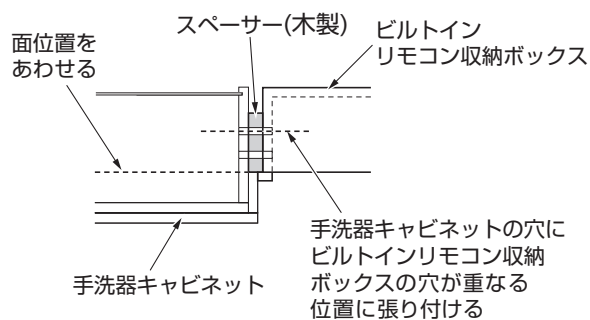
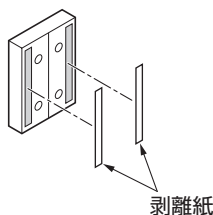
## 手洗器キャビネット・ビルトインリモコン収納ボックスの場合

## 1 部材の組み立て

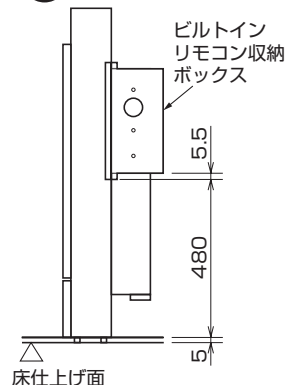
- 皿タッピンねじ  
φ4×40(2本)

- 座金(2個)

- 2 スペース(木製)を張り付ける

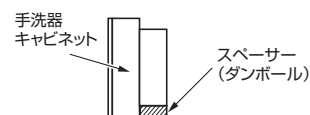


- 1 高さをけがく

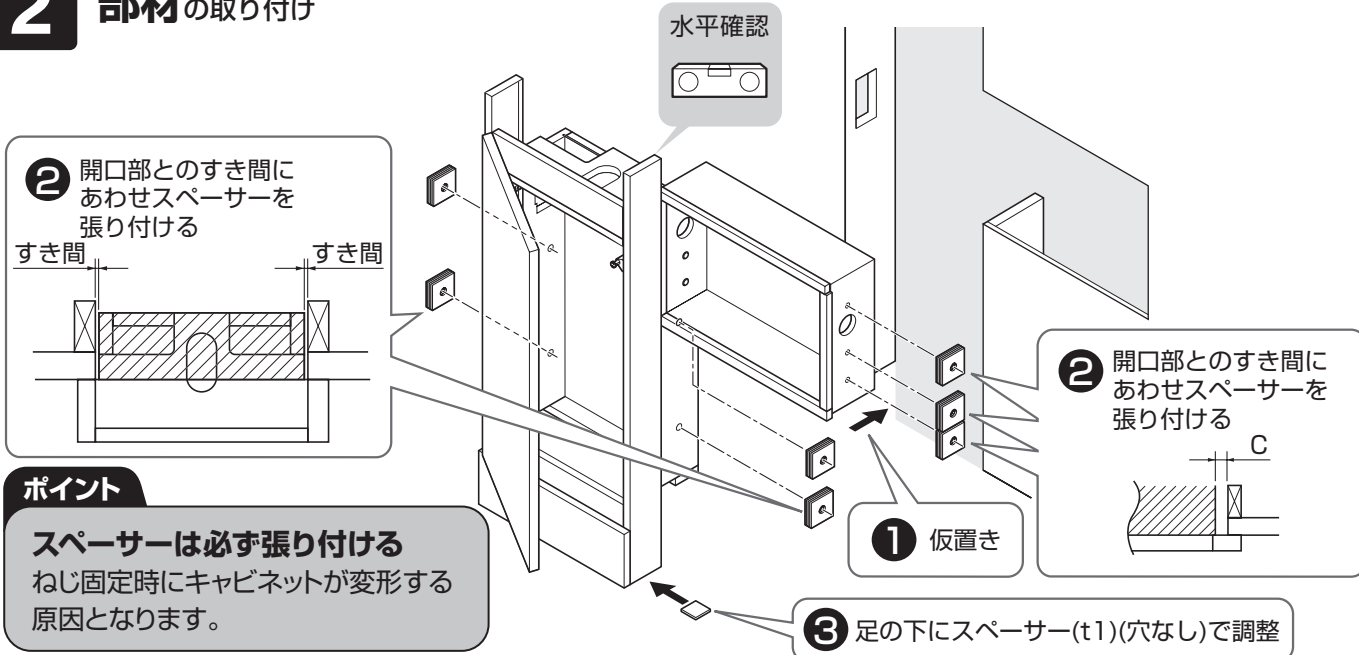


## ポイント

キャビネットのねじ固定時横倒しにする場合は同梱のスペース(ダンボール)を使用する

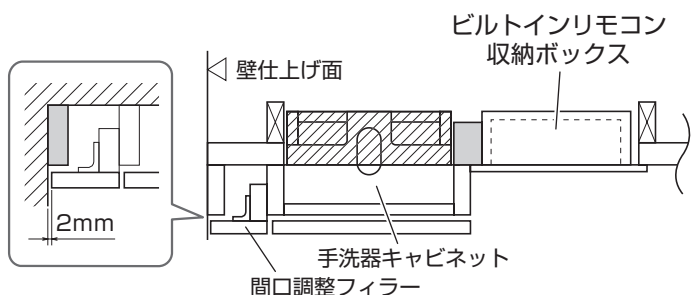


## 2 部材の取り付け



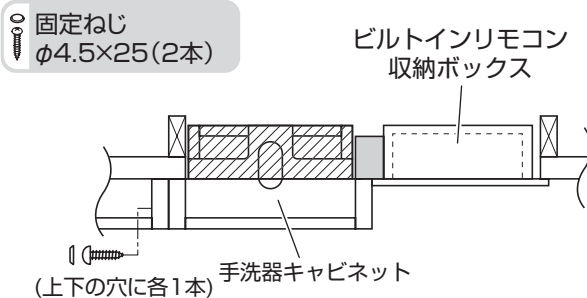
### 間口調整フィラーのみの場合

- 4 壁と間口調整フィラーの隙間を2mmにする



### サイドキャビネットがある場合

※間口調整フィラー+サイドキャビネットの場合も同様



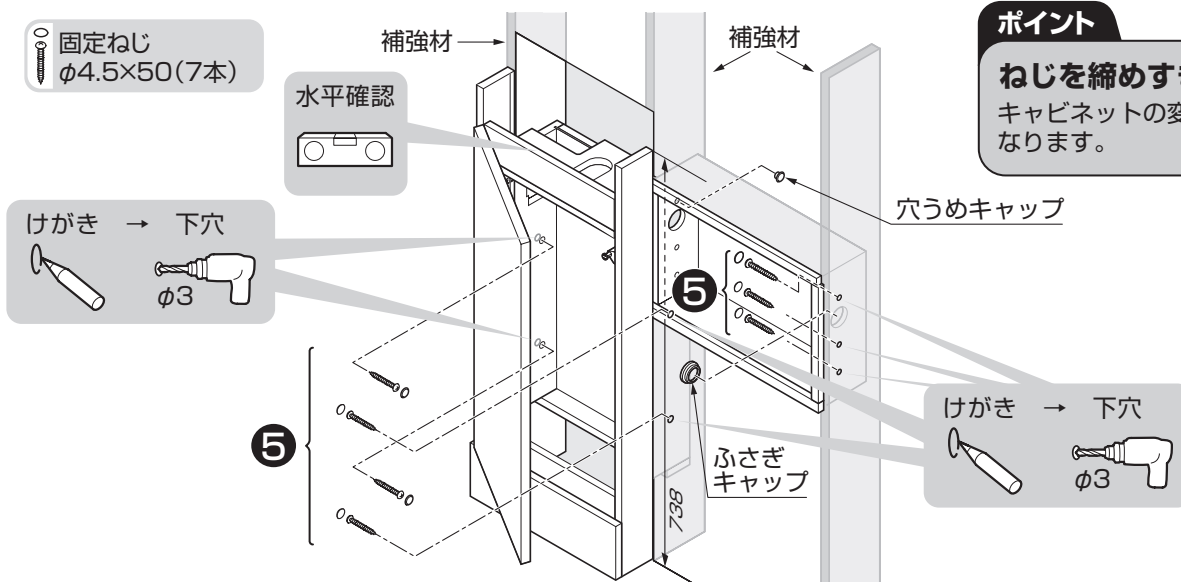
- 4 サイドキャビネットと手洗器キャビネットを連結する

間口調整フィラーがある場合は、P.37へ

### ポイント

ねじを締めすぎない

キャビネットの変形する原因となります。



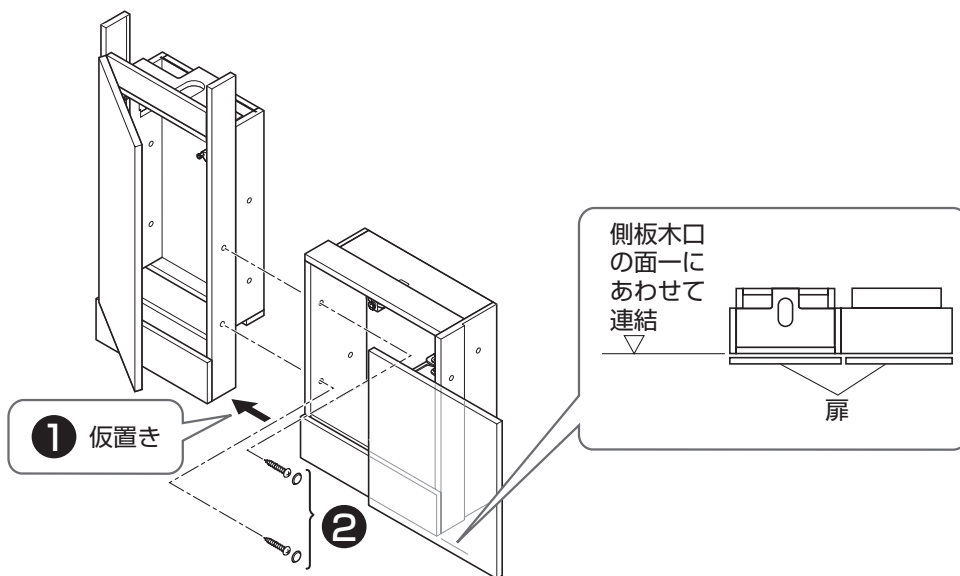
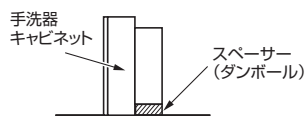
## 手洗器キャビネット・紙巻器下収納の場合

## 1 部材の組み立て

固定ねじ  
φ4.5×25(2本)

## ポイント

キャビネットのねじ固定時横倒しにする場合は同梱のスペーサー(ダンボール)を使用する



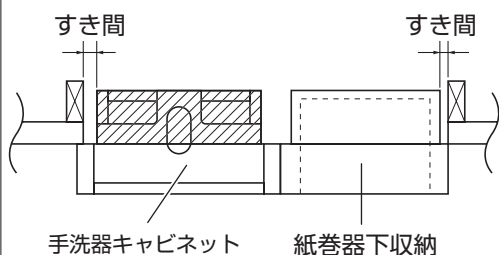
## 2 部材の取り付け

水平確認

## ポイント

スペーサーは必ず貼り付ける  
ねじ固定時にキャビネットが変形する原因となります。

2 すき間にあわせスペーサーを張り付ける

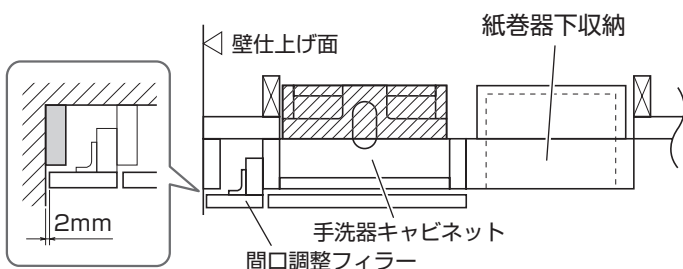


3 足の下にスペーサー(t1)(穴なし)で調整

3 足の下にスペーサー(t1)(穴なし)で調整

## 間口調整フィラーのみの場合

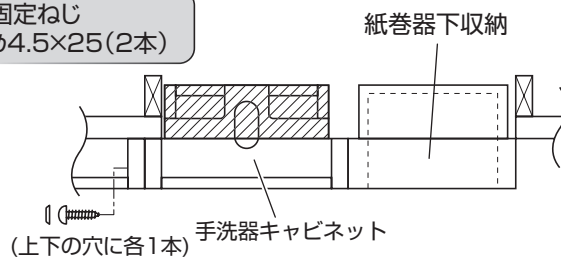
4 壁と間口調整フィラーの隙間を2mmにする



## サイドキャビネットがある場合

※間口調整フィラー+サイドキャビネットの場合も同様

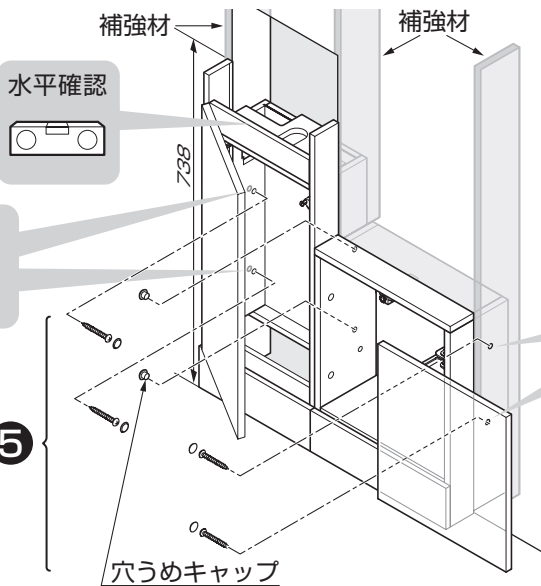
固定ねじ  
φ4.5×25(2本)



4 サイドキャビネットと手洗器キャビネットを連結する

間口調整フィラーがある場合は、P.37へ

固定ねじ  
φ4.5×50(4本)



ポイント

ねじを締めすぎない  
キャビネットの変形する原因と  
なります。

けがき → 下穴  
φ3

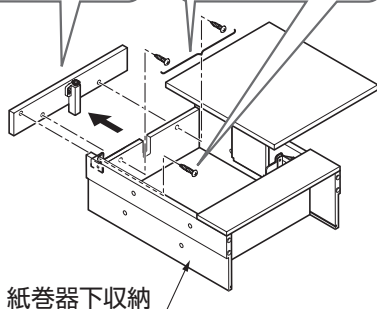
5

手洗器キャビネット・紙巻器下収納・ビルトインリモコン収納ボックスの場合

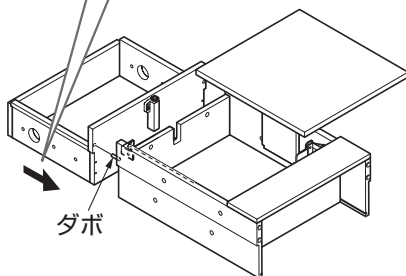
1 部材の組み立て

2 使用しない

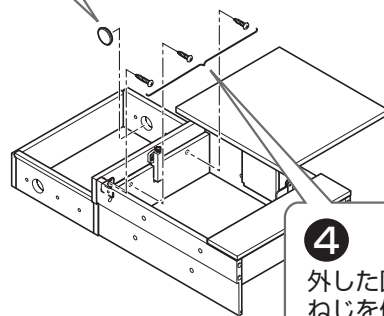
1 固定ねじを外す



3 ダボに合わせて差し込む



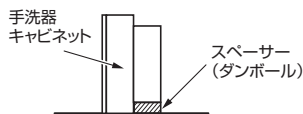
5 左勝手の場合  
(右勝手の場合は逆)



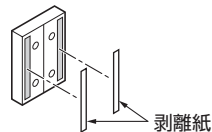
2 部材の取り付け

ポイント

キャビネットのねじ固定  
時横倒しにする場合は  
同梱のスペーサー  
(ダンボール)を使用する

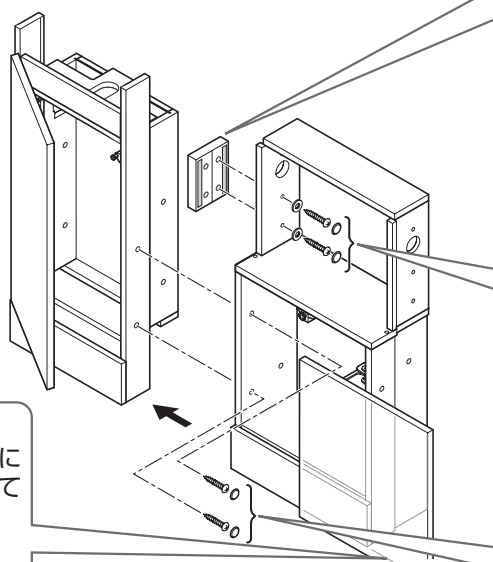


1 スペーサー(木製)を張り付ける

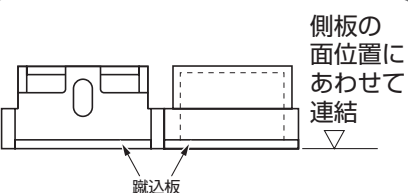


2 皿タッピンねじ  
φ4×40(2本)

座金(2個)



3 固定ねじ  
φ4.5×25(2本)

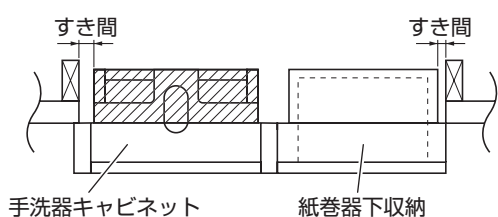


## ポイント

スペーサーは必ず  
貼り付ける

ねじ固定時にキャビネット  
が変形する原因となります。

## 5 すき間にあわせスペーサーを張り付ける

6 足の下に  
スペーサー  
(t1)(穴なし)  
で調整

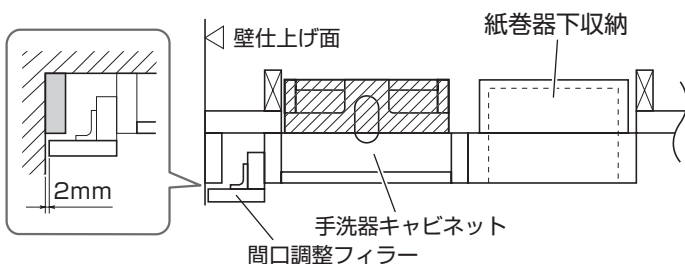
## 6 足の下にスペーサー(t1)(穴なし)で調整

水平確認

## 4 仮置き

## 間口調整フィラーのみの場合

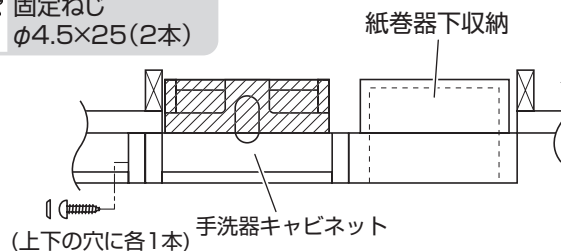
## 7 壁と間口調整フィラーの隙間を2mmにする



## サイドキャビネットがある場合

※間口調整フィラー+サイドキャビネットの場合も同様

固定ねじ  
φ4.5×25(2本)



## 7 サイドキャビネットと手洗器キャビネットを連結する

## 間口調整フィラーがある場合は、P.37へ

## 8

固定ねじ  
φ4.5×50(7本)

水平確認

補強材

けがき → 下穴



φ3

けがき → 下穴



φ3

穴うめキャップ

※タイプにより、穴うめキャップを  
取り付ける箇所は異なります。

## ポイント

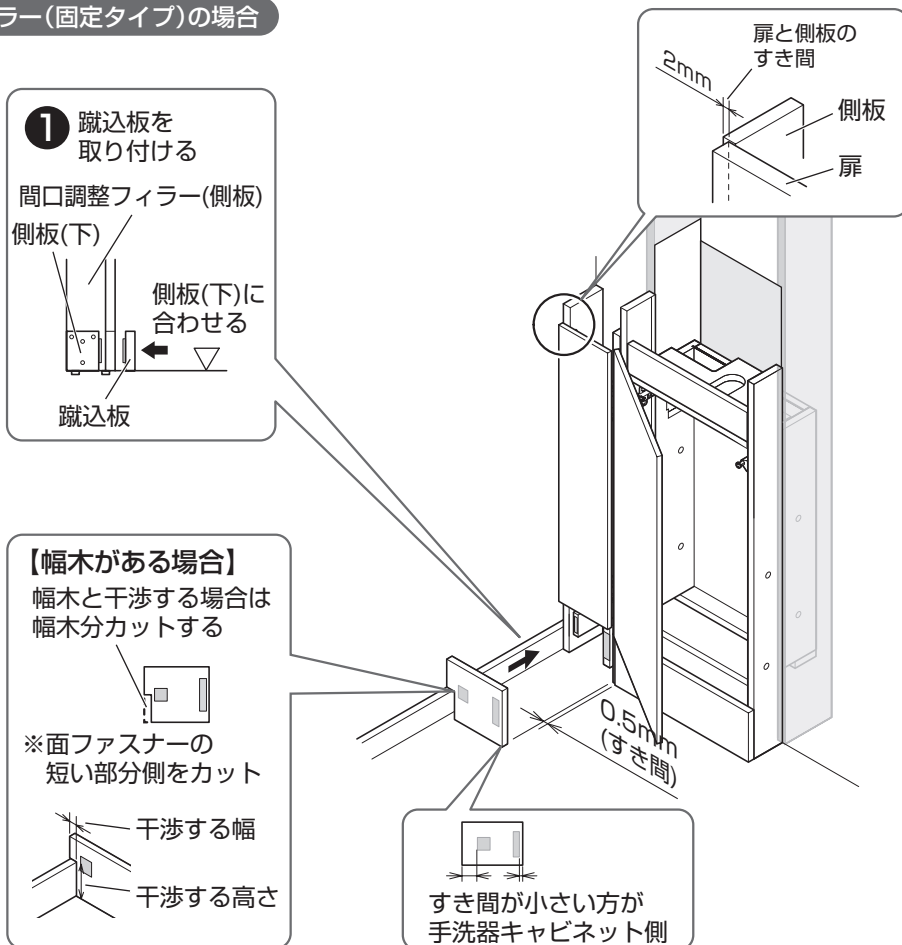
## ねじを締めすぎない

キャビネットの変形する原因となります。

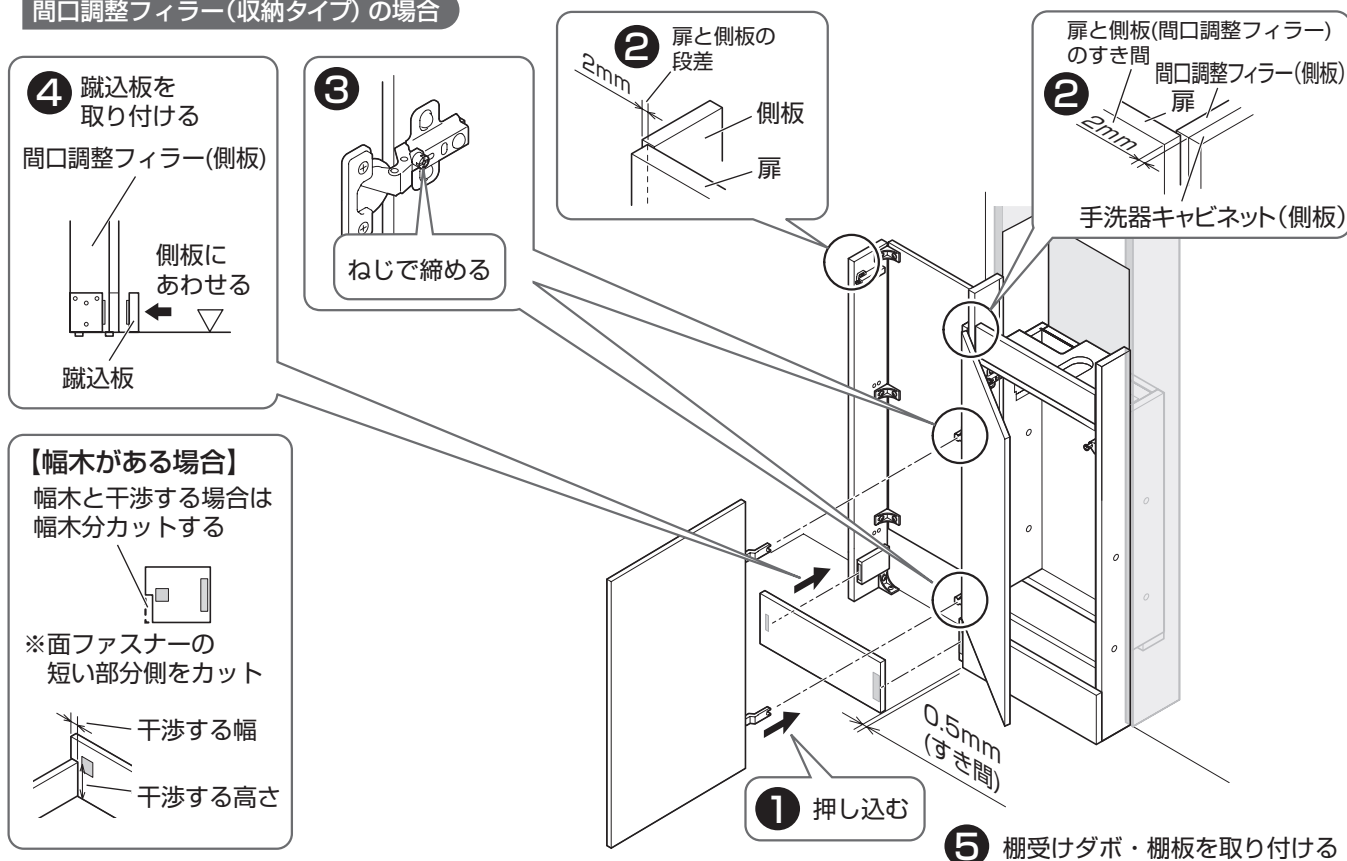


## 間口調整フィルターがある場合

## 間口調整フィルター(固定タイプ)の場合



## 間口調整フィルター(収納タイプ)の場合

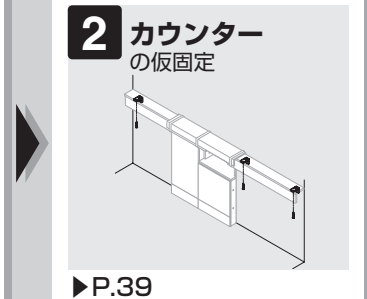
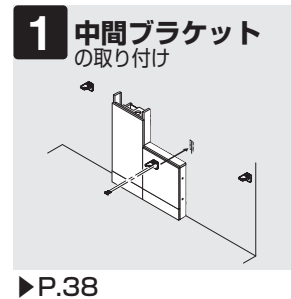




# 5. カウンター

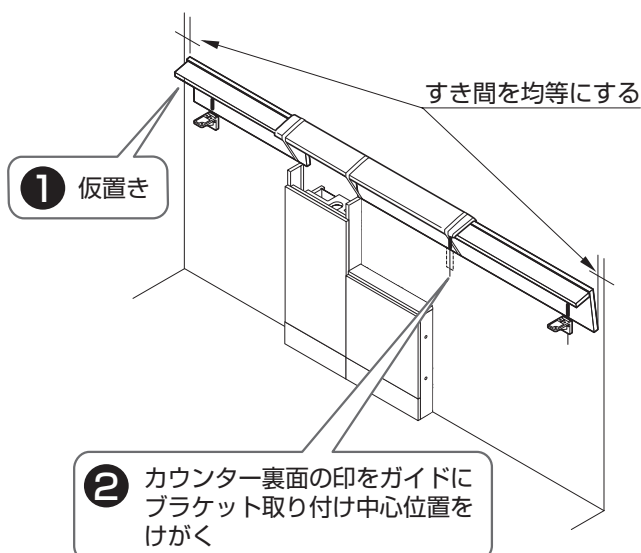
## カウンターの水平について

ブラケットおよびカウンターが水平となるように、同梱のスペーサーで必ず調整してください。  
壁仕上げの状態（垂直、目地、鏡面など）によっては、カウンターの見え方に影響が出る場合があります。



## 1 中間ブラケットの取り付け

### 1方エプロンの場合

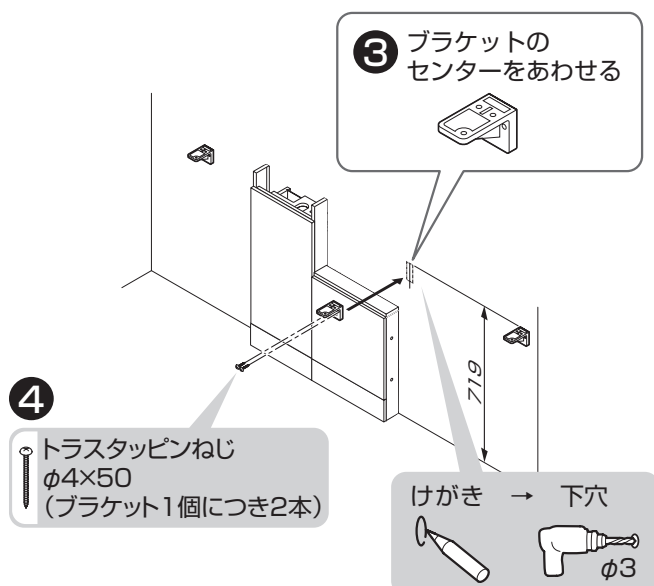


### ポイント

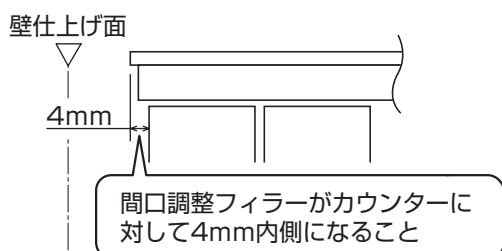
けがき線が露出しないこと

### 注意

カウンターを取り付ける直前まで補強ダンボールを外さない



### 2方エプロンの場合

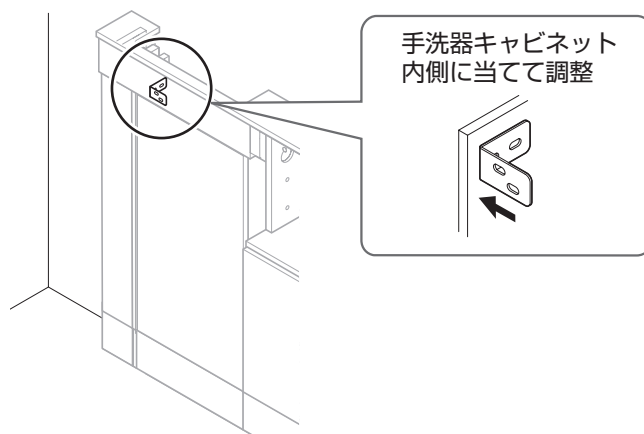


### 間口調整フィラーがない場合

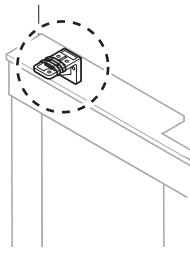
カウンターの両端のすき間が均等になるように調整

### カウンター長さ:1201~1454の場合

※間口調整フィラーがない場合も同様

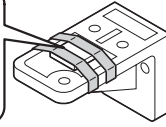


## 2方エプロン・間口調整フィルター(固定タイプ)・ブラケットがある場合



## ポイント

水平を出すには  
スペーサーで  
調整し、テープ  
で固定する



※カウンターとのすき間がある場合スペーサーで調整する。

## 2 カウンターの仮固定

※プランによってブラケット、アングル材の位置・個数が異なります。  
※使用しないブラケットが生じる場合があります。

## 施工の流れ

補強ダンボールを外さず  
持ち運びカウンターを  
仮置き・位置合わせ



補強ダンボールが  
付いたままブラケット  
にねじ1本ずつ仮固定



補強ダンボールを外す



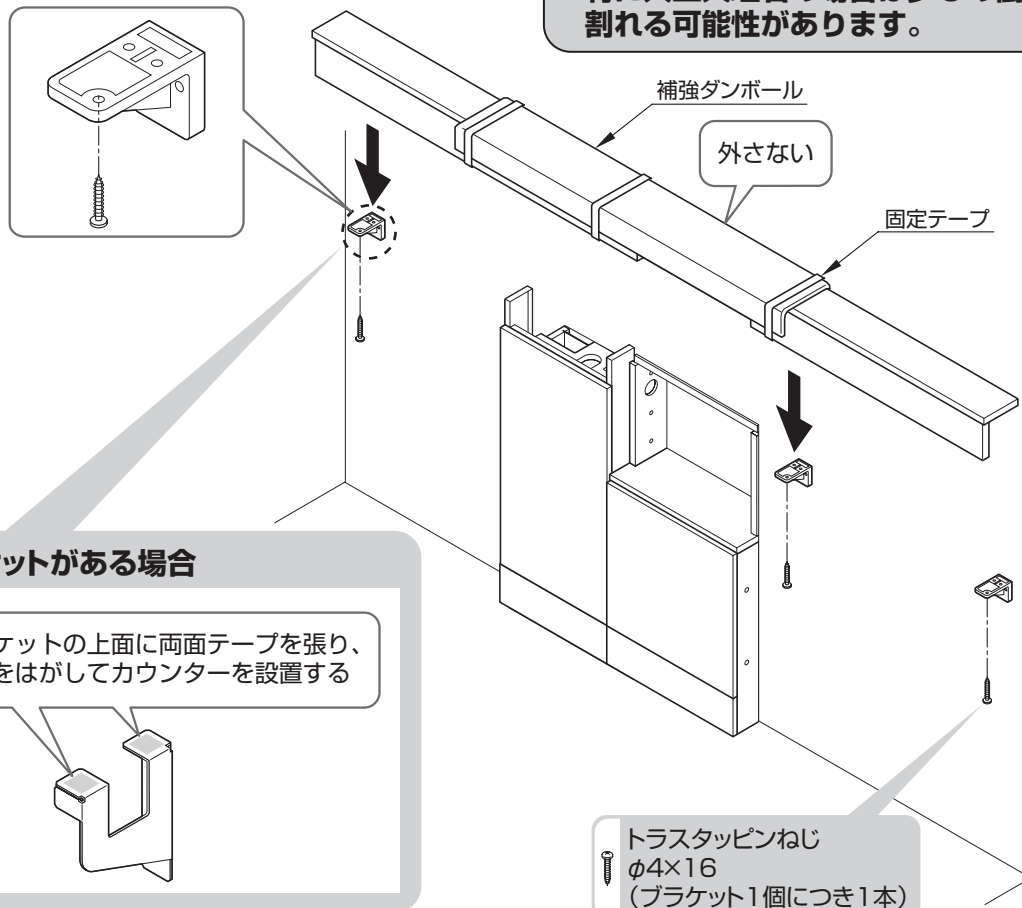
水平確認をして本固定

## 間口調整フィルター・サイドキャビネットなしの場合

## 1 養生ダンボールをつけたまま乗せる

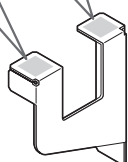
## 注意

- カウンターをねじで仮固定するまで補強ダンボールを外さない
- 移動時は補強ダンボールをしっかり持つ
- ※ 特に人工大理石の場合は少しの衝撃で割れる可能性があります。



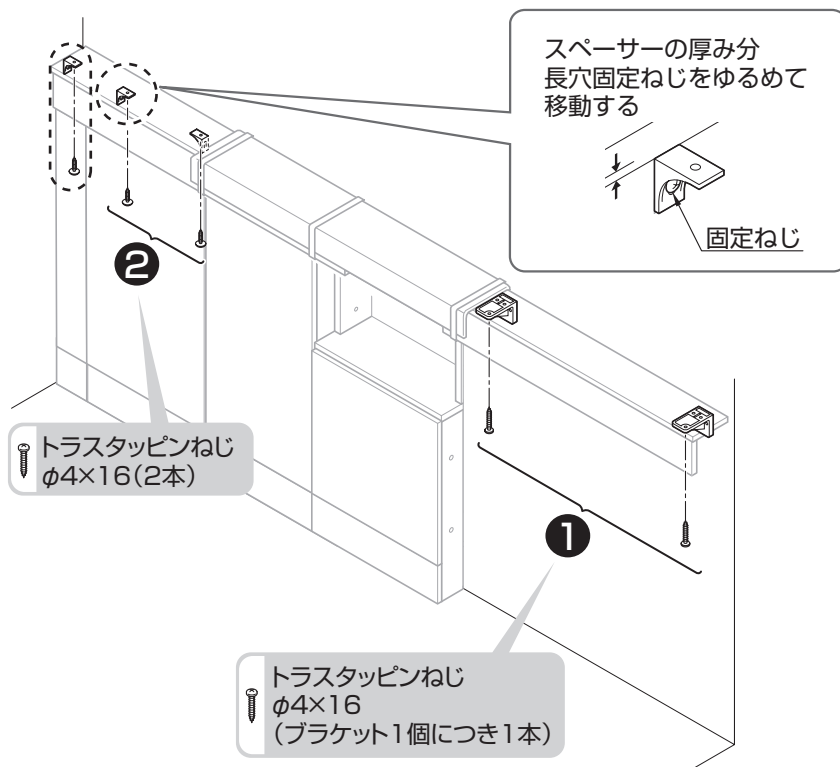
## 金型ブラケットがある場合

金型ブラケットの上面に両面テープを張り、  
はくり紙をはがしてカウンターを設置する



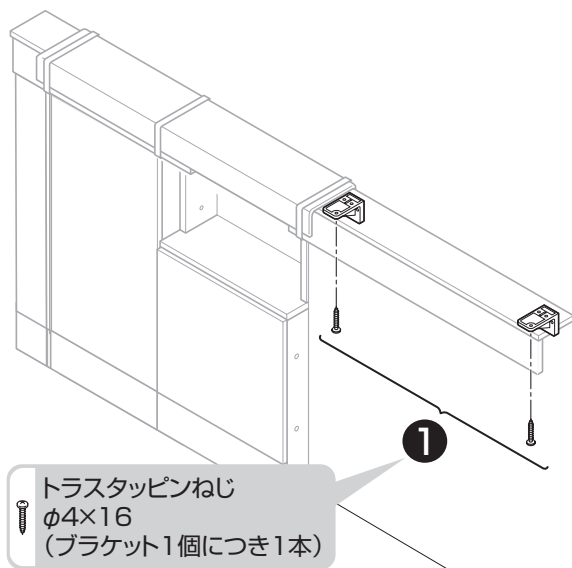
トラスタッピンねじ  
φ4×16  
(ブラケット1個につき1本)

## 間口調整フィルター・サイドキャビネットありの場合

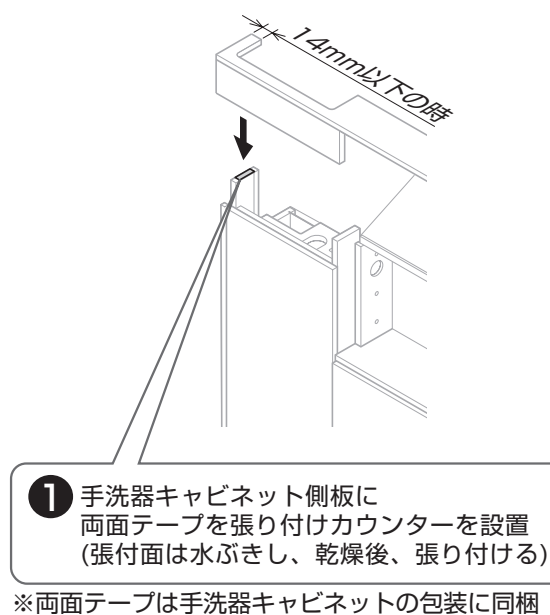


## 1方エプロン・2方エプロン(カウンター長さ:901~1454)の場合

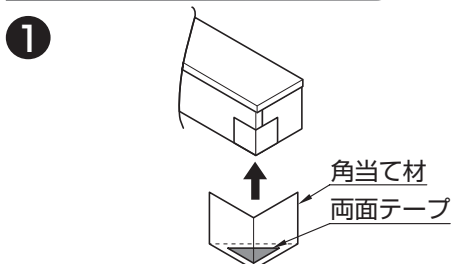
※間口調整フィルターがない場合も同様



## 2方エプロン・ブラケットがない場合



## パッケージタイプ(ショート)の場合



## ポイント

奥壁側(大便器側)の幕板角に張り付けること  
(張付面は水ぶきし、乾燥後、張り付ける)

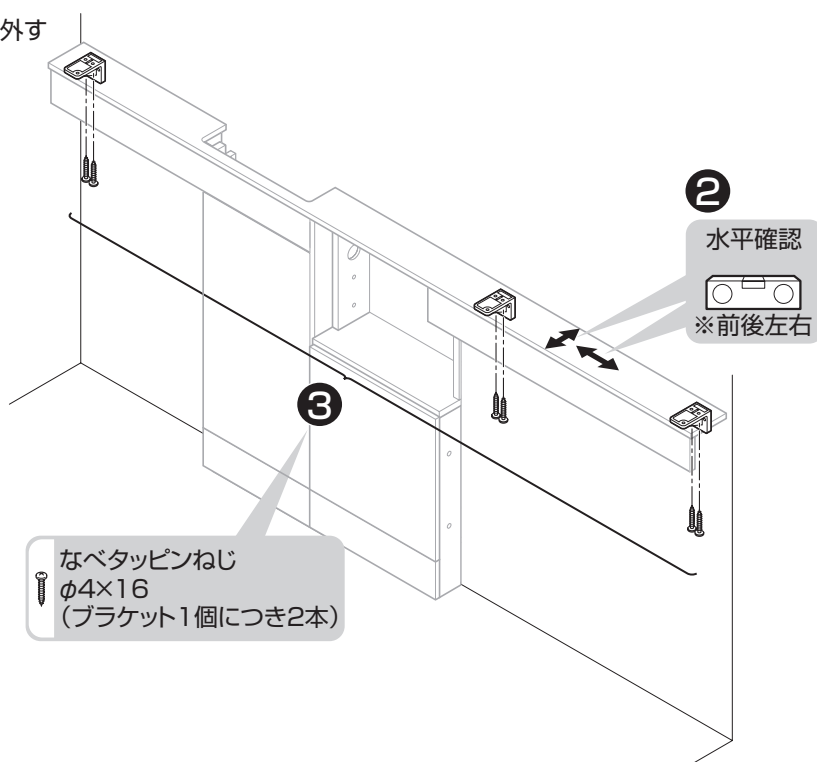
## ⚠ 注意

必ず角当て材を取り付ける  
必ず守る 幕板のエッジにぶつかり、けがをするおそれがあります。

### 3 カウンターの本固定

#### 共通

- 1 固定テープを切り補強ダンボールを外す
- 2 カウンターの水平を確認する
- 3 仮固定していた各ねじを本固定し、各ブラケットの固定穴でねじ2本を加えて本固定する



#### ポイント

水平を出すには  
スペーサーで  
調整する



なベタッピンねじ  
φ4×16  
(ブラケット1個につき2本)

#### 1方エプロン・2方エプロン (カウンター長さ:901~1454) の場合

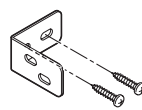
#### ポイント

水平を出すには  
スペーサーで  
調整する

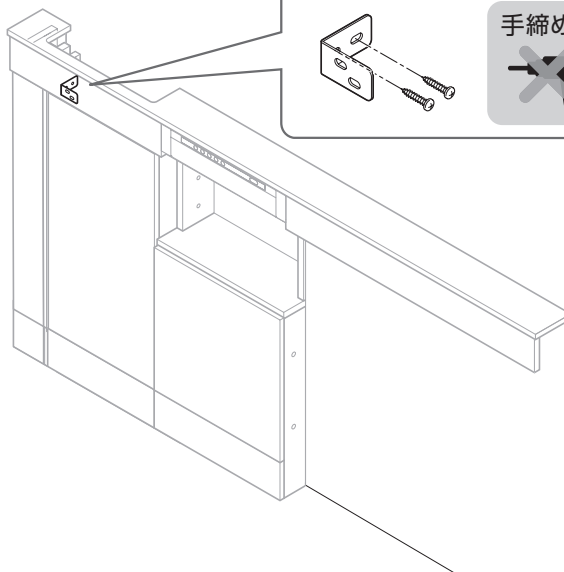


※カウンターの固定が  
キャビネットの部分は  
キャビネットとカウンターの  
間に横からスペーサーを  
入れて調整する

2 トラストッピンねじ  
φ4×12(2本)

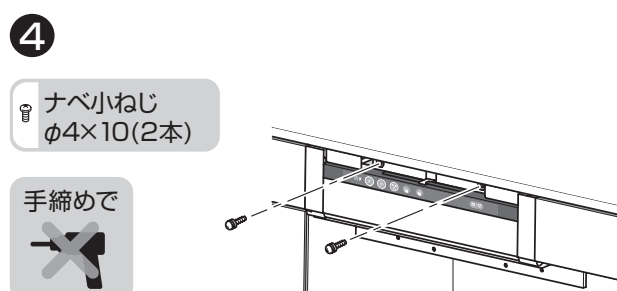
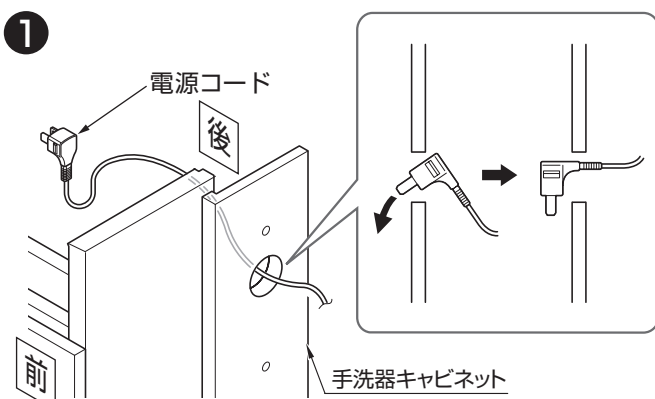


手締めで



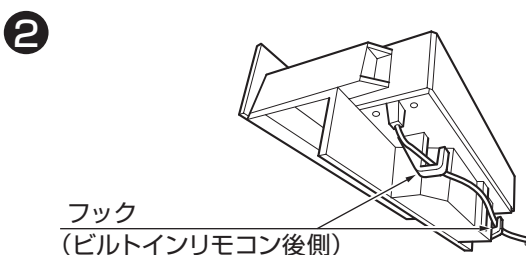
## 4 ビルトインリモコンの取り付け

ビルトインリモコンなしの場合は、P. 43へ



### ポイント

ねじは硬くなるまでしっかり締め付ける

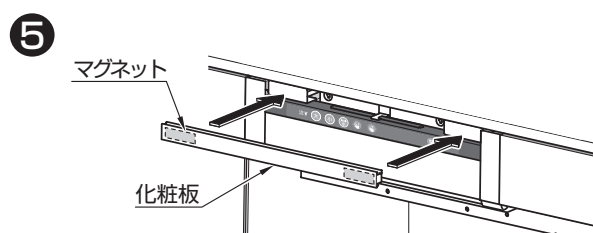
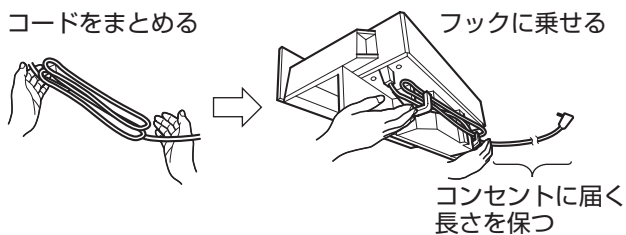


### 取り付け後の工程

#### 余ったコードはフックに乗せる

コードをまとめる

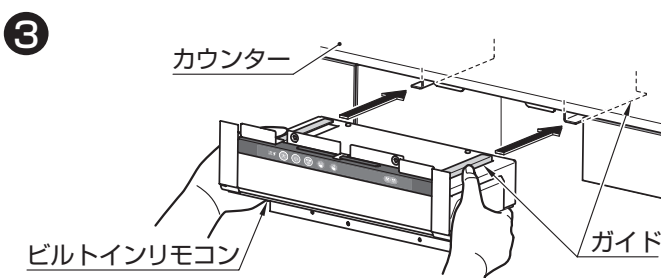
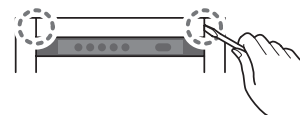
フックに乗せる



※化粧板が水平になっているか、すき間が均一か確認する

### 化粧板のはずしかた

施工のやり直しなどで化粧板を取り外すときは、化粧板とビルトインリモコンのすき間にマイナスドライバーなどの工具を差し込み取り外す



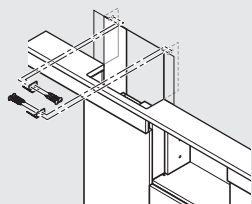
### 注意

ビルトインリモコンと化粧板は傷つきに注意する

# MEMO

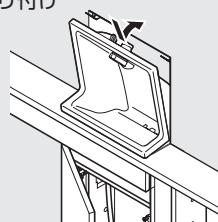
# 6.手洗器

## 1 手洗器固定金具の取り付け



▶P.43

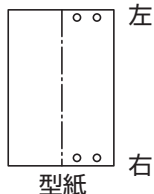
## 2 手洗器の取り付け



▶P.43

## 1 手洗器固定金具の取り付け

### 1 カウンターに乗せてあわせる



※左右で型紙の向きを変える

### 2

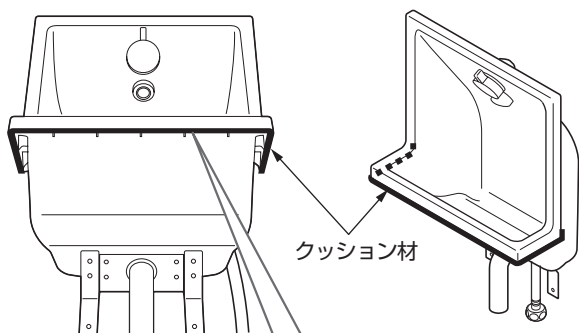
けがき → 下穴



### 3 トラストツピンねじ φ4×20(4本)

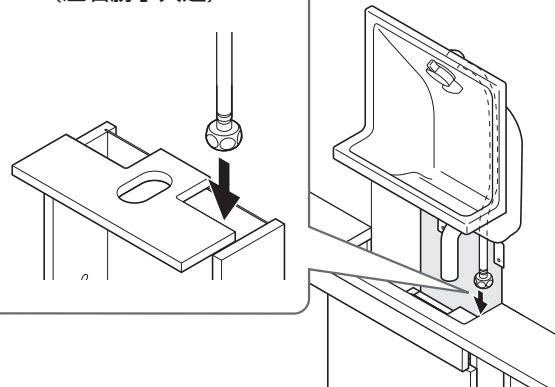
## 2 手洗器の取り付け

### 1 手洗器裏面の汚れをふき取り、 カウンターに接する部分に クッション材を張る。

はみ出さないこと  
(1mm程度内側になるように)

### ハンドル式水栓の場合

### 2 給水ホースを 右側から通す (左右勝手共通)



### 警告



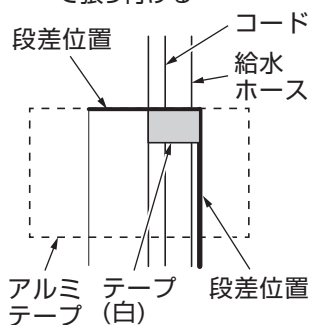
必ず守る

クッション材の張り付けは確実に  
水などがキャビネット内に浸入してコンセントに  
かかり、火災や感電の原因となります。

## 自動水栓の場合

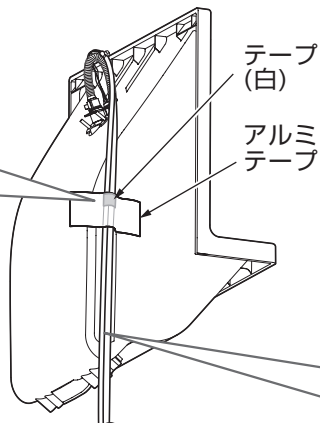
- ② 梱包時の給水ホースの固定テープを外す  
※給水ホースをまとめているテープ(白)は外さないこと。

- ③ 左右の勝手を確認して  
手洗器裏面横の段差  
位置とテープ(白)の角  
をあわせ、アルミテー  
プで張り付ける



## 注意

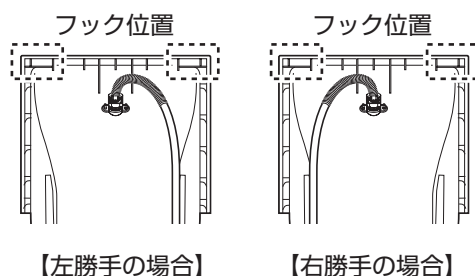
位置を間違えると  
給水ホースが折れて  
吐水不良などの  
おそれがあります



※図は左勝手の場合

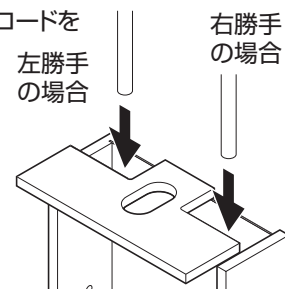
## 注意

## 手洗器背面の給水ホース勝手方向



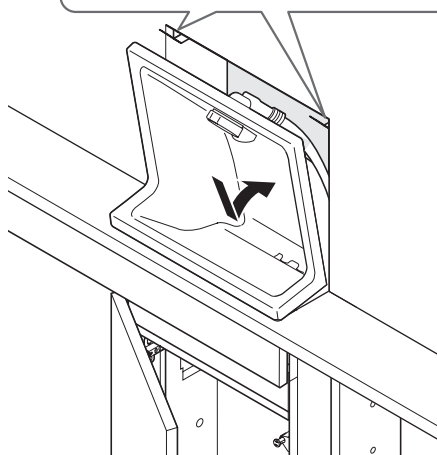
- ④ 給水ホース・コードが手洗器の裏側に行かないよう処理する  
(ホースを壁に挟み込まないように注意する)

- ⑤ 給水ホース・コードを  
通す



## ハンドル式水栓／自動水栓共通

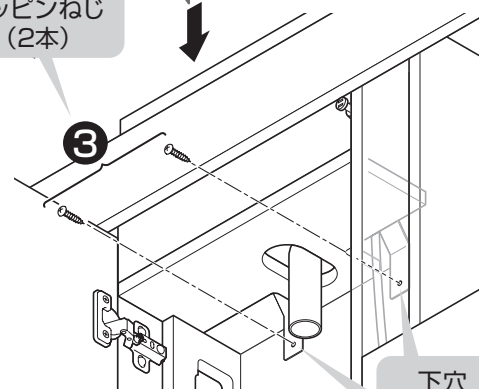
- ① 手洗器を手洗器固定金具へ引っ掛ける



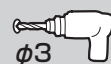
- ② 手洗器を押しつける

トラスタッピンねじ  
φ4×20 (2本)

③



下穴

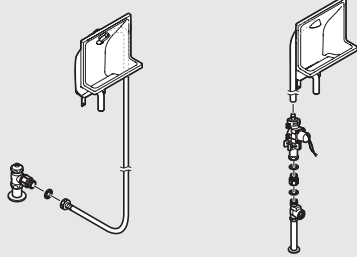


MEMO



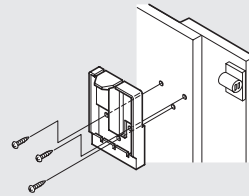
# 7. 給排水

## 1 水栓給水管の取り付け



▶P.45

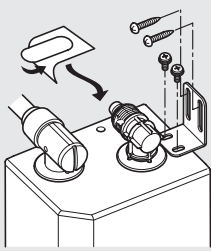
## 2 自動水栓コントローラー固定材の取り付け



▶P.46

自動水栓の場合

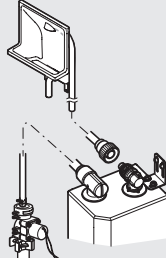
## 3 電気温水器の取り付け



▶P.47

電気温水器付自動水栓の場合

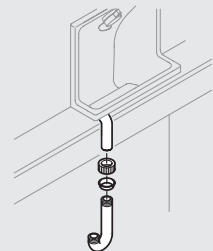
## 4 電気温水器の接続



▶P.48

電気温水器付自動水栓の場合

## 5 排水管の接続



▶P.49

## 1 水栓給水管の取り付け

ハンドル式水栓の場合

### ポイント

給水ホースが折れ曲がらないように、止水栓に接続する  
※ホースの最小曲げ半径は30mmです。

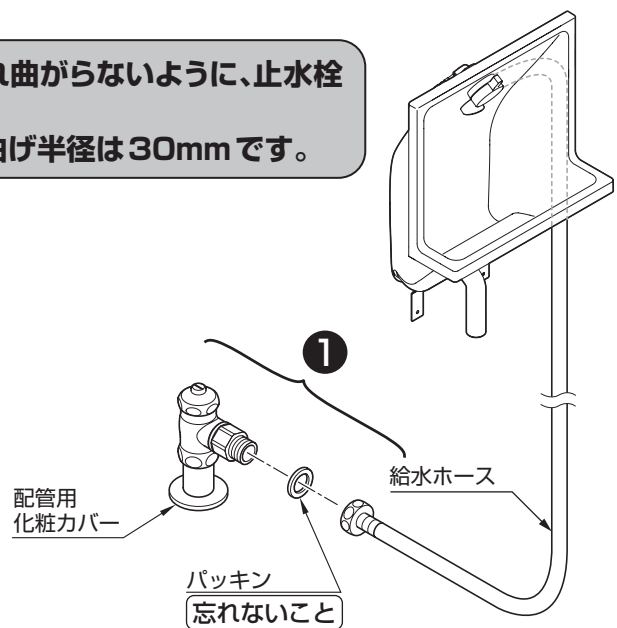
### 注意



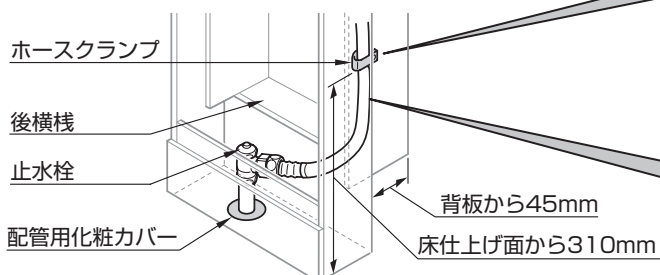
必ず守る

### 給水ホースは折らない

折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



- ② 床部に配管用化粧カバーを張る。  
給水ホースが後横桟に乗らないことを確認し、トラスタッピンねじφ4×12にてホースクランプを取り付ける



### ポイント

ホースクランプ固定はねじ位置を側板側にする

### ポイント

給水ホースが後横桟に乗らない位置でホースクランプを固定する



## 自動水栓の場合

## 注意



## 給水ホースは折らない

折れ曲がりによる吐水不良の原因となります。  
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

## 注意



## 定流量弁を必ずつける

水はねして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

## ポイント

給水ホースが折れ曲がらないように、止水栓に接続する

※ホースの最小曲げ半径は60mmです。

## 2 給水ホースを接続する

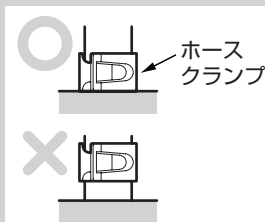


## ポイント

給水ホースは切断しないでください。吐水量不足時に定流量弁を外した場合に、給水ホースが届かなくなるおそれがあります。

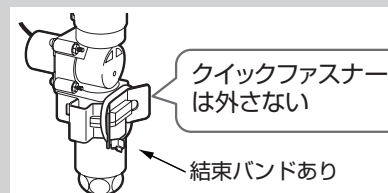
## 注意

- 給水ホースが確実に差し込まれているか確認する
- 給水ホースが折れ曲がることのないように注意する
- ホースクランプは所定の位置にくるようにする<一般地の場合>
- 必ずホースクランプで給水ホースを固定する<一般地の場合>



## 注意

クイックファスナーを結束バンドで固定している製品は、クイックファスナーを外さずにそのまま施工する。<一般地の場合>



給水ホース

機能部

パッキン  
(寒冷地の場合は  
フィルター付き)

忘れないこと

定流量弁  
パッキン

忘れないこと

止水栓  
給水管

配管用化粧カバー

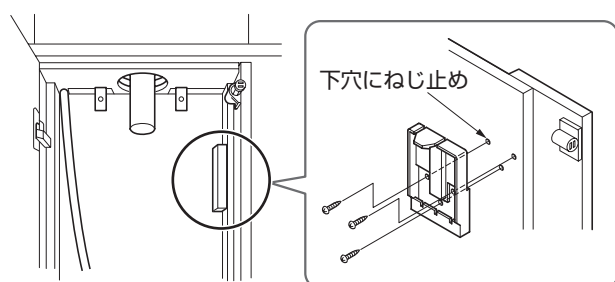
1

## 自動水栓の場合

## 2 自動水栓コントローラー固定材の取り付け

1

トラスタッピンねじ  
φ4×14(3本)



接続部  
コネクター(赤)

カチッ

センサー  
コネクター(緑)

水栓・電磁弁からのコネクター  
を「カチッ」というまで差し込む

下部を  
ひっかけ  
ながら

## 電気温水器付自動水栓の場合

## 3 電気温水器の取り付け

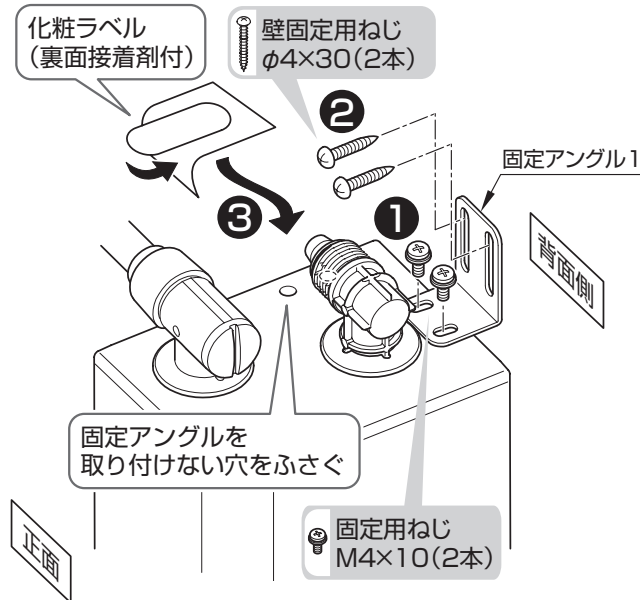
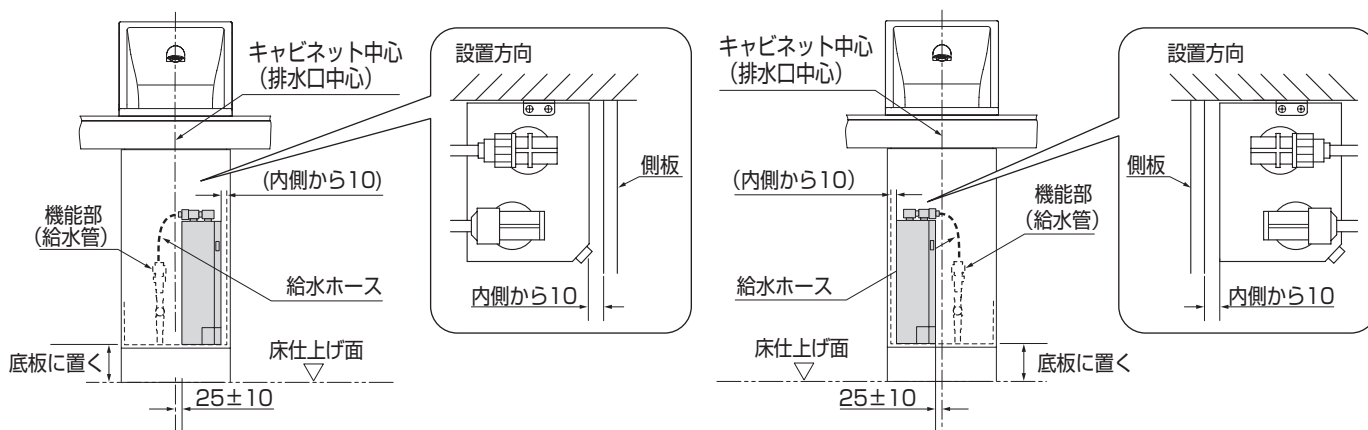
## 電気温水器取り付け位置

電気温水器が付く場合は底板を先に付けてください。(P.49参照)

**参照** ※詳細は電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。  
※取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用してください。

【左勝手】

【右勝手】

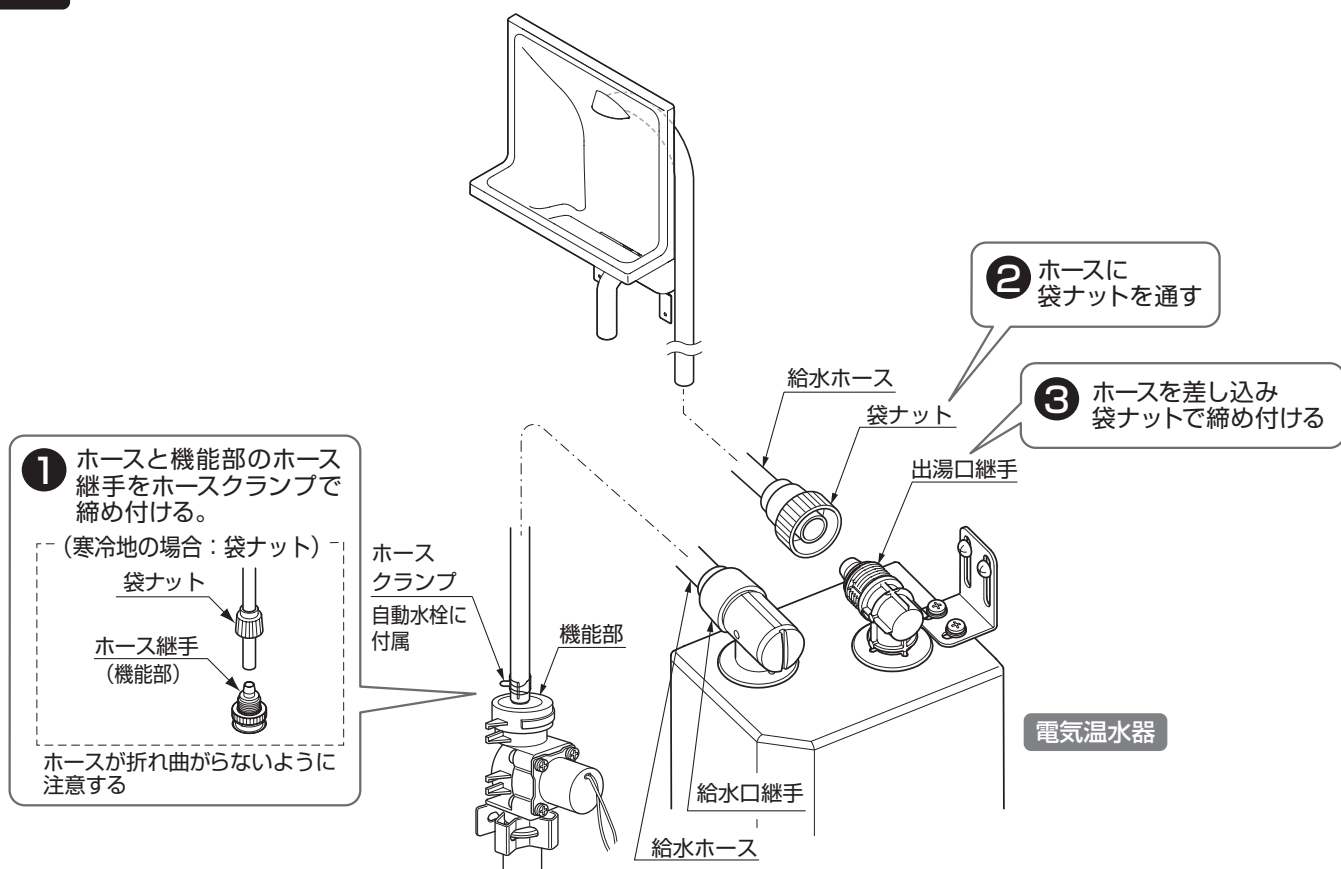


MEMO

## 電気温水器付自動水栓の場合

## 4

## 電気温水器の接続



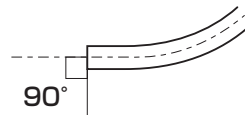
## ⚠ 注意



必ず守る

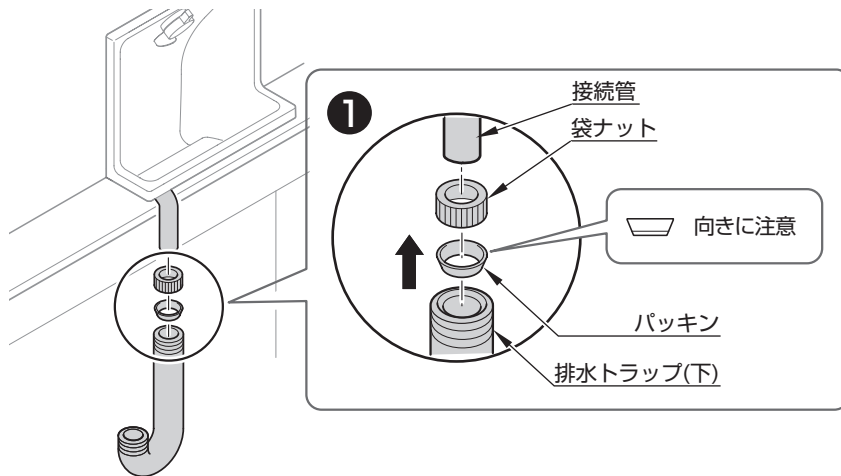
給水ホースを切断する際は、カッターなどを用い、切断面が垂直になるようにしてください。  
 (斜めに切断すると水漏れのおそれがあります。)

給水ホース接続後、軽く引っ張り抜けないこと。



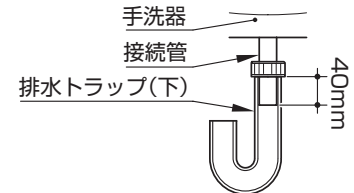
## MEMO

## 5 排水管の接続

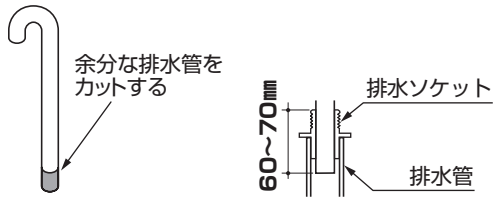


### ポイント

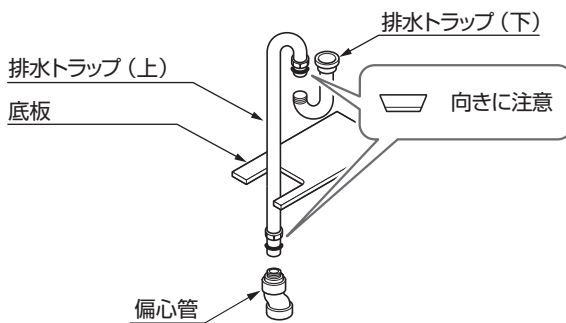
接続管を排水トラップ(下)の奥まで入れる



2

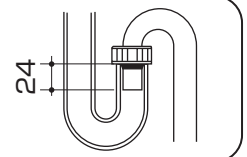


3



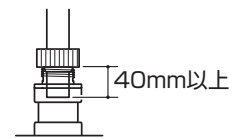
### ポイント

排水トラップ(上)を排水トラップ(下)の奥まで入れる



### ポイント

排水トラップ(上)を偏心管側排水ソケットに40mm以上入れる



底板の配管用化粧カバーの取り付けは、P.58へ

# MEMO

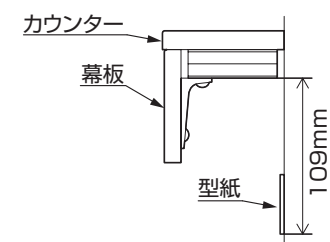
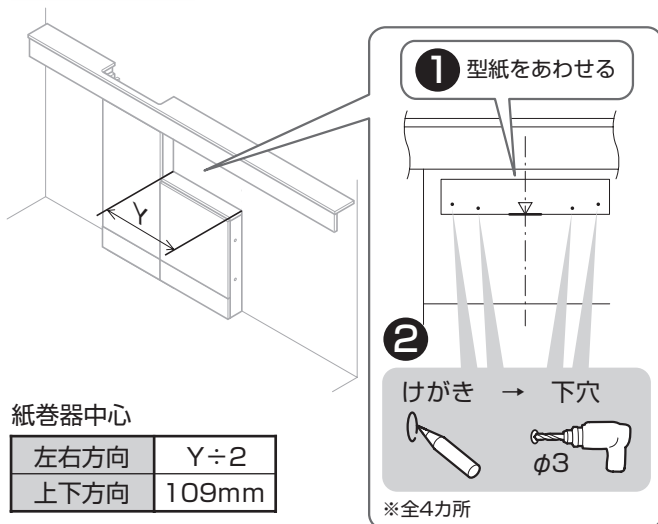
# 8. 紙巻器

## 1 紙巻器の取り付け

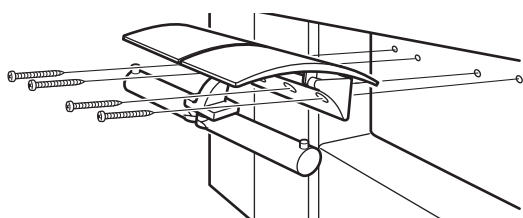
紙巻器設置位置は、P.7を参照

### ビルトインリモコンなしの場合

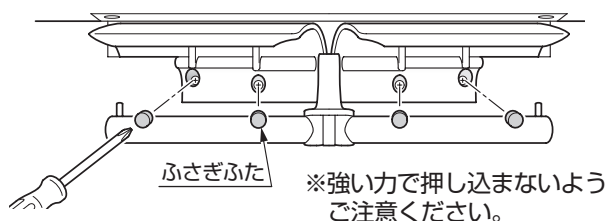
#### メタル製紙巻器



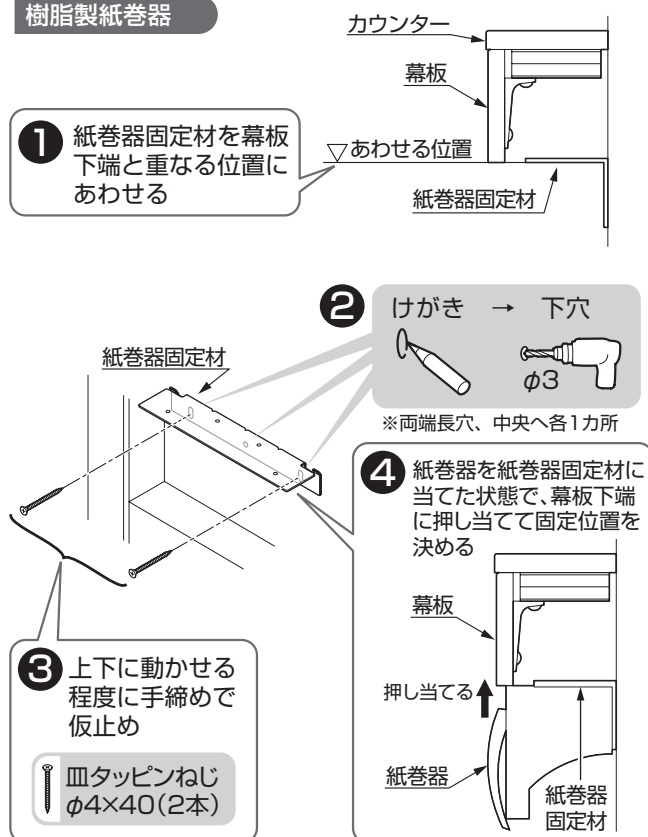
**3** トラストッピンねじ  
φ4×40(4本)



**4** ねじ穴部4カ所をふさぎふたでふさぐ

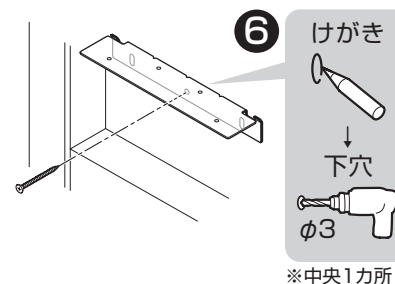


#### 樹脂製紙巻器



**5** ③のねじを  
本固定

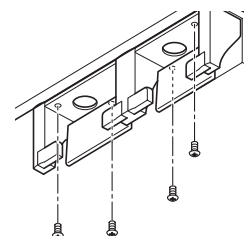
**7** 皿タッピンねじ  
φ4×40(1本)



**9** 紙切板を奥に倒す  
(紙切板は取り外さ  
ないでください)



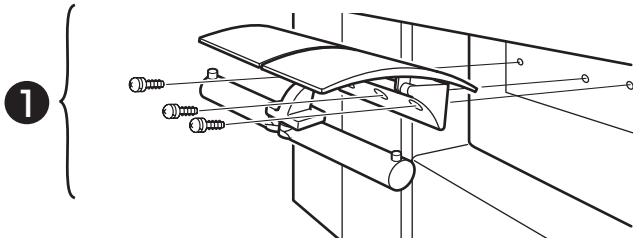
**10** なべ小ねじ  
M4×10(4本)



## ビルトインリモコンありの場合

## メタル製紙巻器

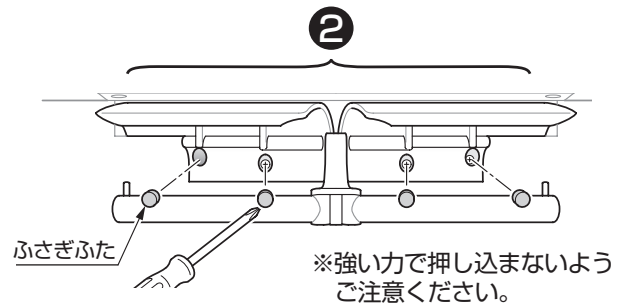
なべ座金組込小ねじ  
M4×10(3本)



## 注意

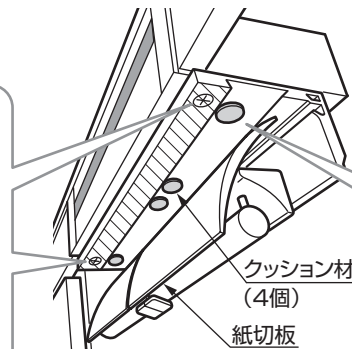
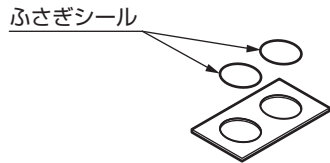


同梱のなべタッピンねじ  
(φ4×40、4本)は使わない  
ビルトインリモコンもしくは、紙巻器  
固定材を破損するおそれがあります。

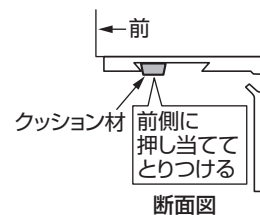


## 【めっき仕上げの場合】

4 ねじの頭部(2カ所)に  
ふさぎシールを張る  
(映り込み防止)

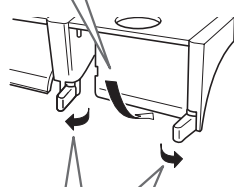


3 紙切板があたる位置(4カ所)  
にクッション材を張る  
(斜線部には張らない)

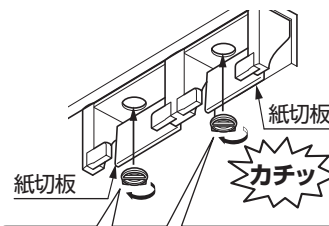


## 樹脂製紙巻器

2 紙切板を奥に倒す  
(紙切板は取り外さないでください)



1 紙芯受けを  
外側に開く



3 90°回転させ取り付ける  
【固い場合】  
当て布をしてペンチ等で回転させる

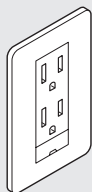
4 紙切板を元に戻す

## 注意

90°回転させて固定する  
必ず守る 破損・落下し、けがのおそれがあります。

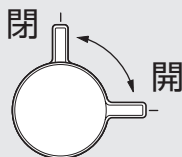
## 9. 試運転・確認

### 1 電源コンセントの確認



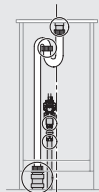
▶P.52

### 2 吐水の確認



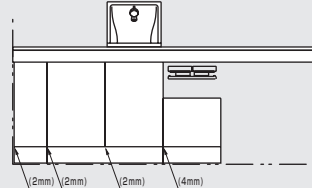
▶P.53

### 3 水漏れの確認



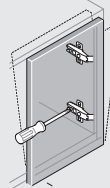
▶P.54

### 4 キャビネットのすき間の確認



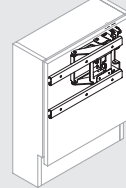
▶P.54

### 5 手洗器キャビネットの調整



▶P.55

### 6 スライド扉の調整



▶P.56

## 1 電源コンセントの確認

コンセントに電源プラグを下図を参考に根元まで確実に差し込む。

設置機器			手洗器キャビネット内		
自動水栓	電気温水器	ビルトインリモコン	コンセント	プラグの差し込み位置	
				下側	上側
○	○	○	 ・接地用端子の付いた接地極付きの壁埋込式2口コンセント	 電気温水器 ビルトインリモコン	 自動水栓
○	○	—		 電気温水器	 自動水栓
○	—	○	 ・壁埋込式2口コンセント	 ビルトインリモコン	 自動水栓
○	—	—		 自動水栓	 ビルトインリモコン
—	—	○	 ・壁埋込式1口コンセント	 ビルトインリモコン	 自動水栓

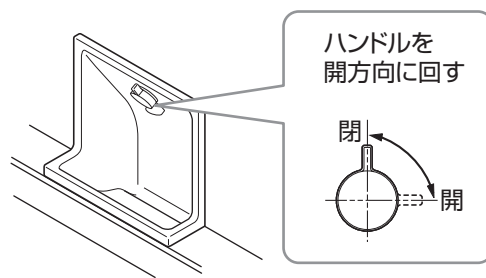


## 2 吐水の確認

### 自動水栓の場合



### ハンドル式水栓の場合



### 注意

電源を入れると感知距離を自動設定しますので約20秒間もしくは約10分間センサー内のランプが点滅している間は、センサーに手をかざしたり手洗器内に物を置いたりしないでください

### 水を出す・止める

- 吐水口に手を近づけると水が出ます。
- 手を離すと約1~2秒後に水が止まります。
- 設置後すぐは、エアがみにより流れが乱れることがあります。その場合は、数回水を出し止めしてください。
- 手を約1分間連続して感知すると自動的に止まります。(センサー感知は学習方式のため、手を動かさないと約15秒で水が止まります)

### 流量の調節



定流量弁が入っていますので、基本的には流量の調節は不要です。

**止水栓は全開**にてご使用ください。

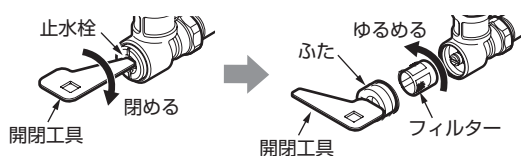
ただし、水の勢いが強すぎて衣服などをぬらすおそれがある場合は、開閉工具で止水栓を回して、流量を調節してください。

### フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。

また、お客様にもときどき清掃していただくようにご説明願います。

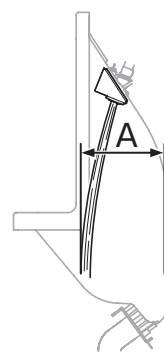


※フィルターを掃除する際は、付属の開閉工具で**止水栓を閉めたあと、フィルターふたを外してください。**

### ポイント

給水圧が低く止水栓を全開にしても流量が少ない場合は圧力変動がないことを確認して定流量弁を外してください

定流量弁を外した場合は吐水時のA寸法を測りA=75~90mmになる様に止水栓で調節してください。



### 【ハンドル式水栓・自動水栓(一般地)】

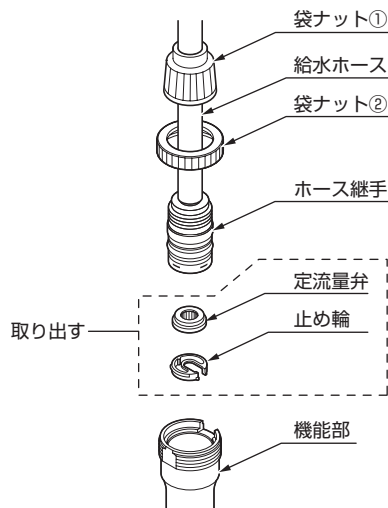


### 【自動水栓(寒冷地)】

定流量弁はホース継手内にあります。

### 定流量弁の取り外し手順

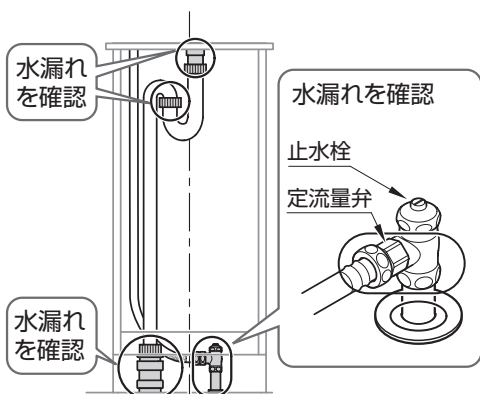
1. 開閉工具で止水栓を閉める。
2. 袋ナット①を外し、上にずらす。  
袋ナット②を外し、上にずらす。
3. ホース継手を機能部より外し、ホース継手に組み込まれている止め輪を外して定流量弁を取り出す。
4. ホース継手の凸を機能部の凹に合わせて挿入し、袋ナット②、袋ナット①の順で締め付ける。



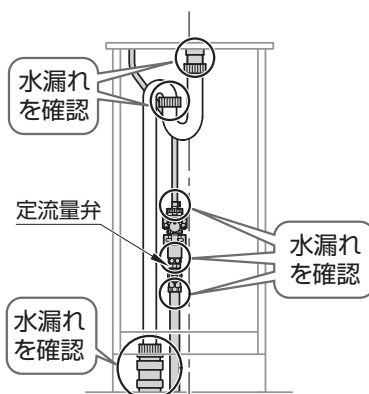


### 3 水漏れの確認

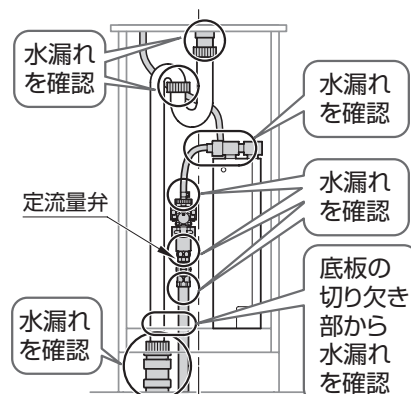
#### ハンドル式水栓



#### 自動水栓

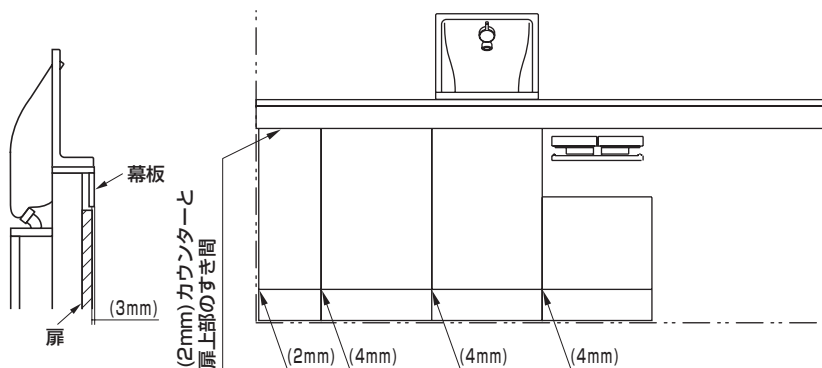


#### 電気温水器付自動水栓



### 4 キャビネットのすき間の確認

▶▶▶ すき間の調整は、P.55「**5**手洗器キャビネットの調整」、P.56「**6**スライド扉の調整」を参照



#### ポイント

**【間口調整フィラーがある場合】**  
間口調整フィラーを基準にして各扉を調整する。

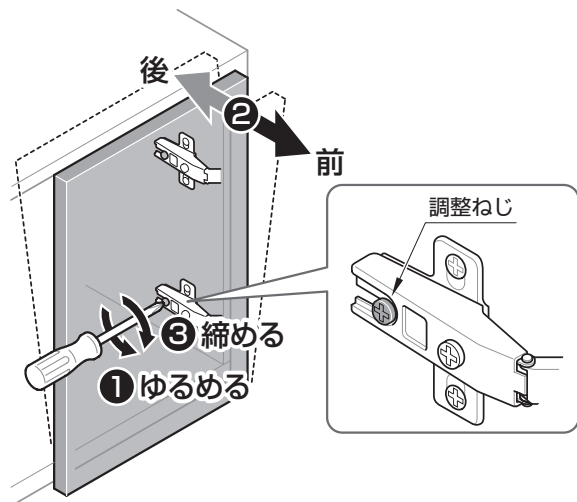
**【間口調整フィラーがない場合】**  
サイドキャビネットまたは手洗器キャビネットを基準にして各扉を調整する。

# MEMO

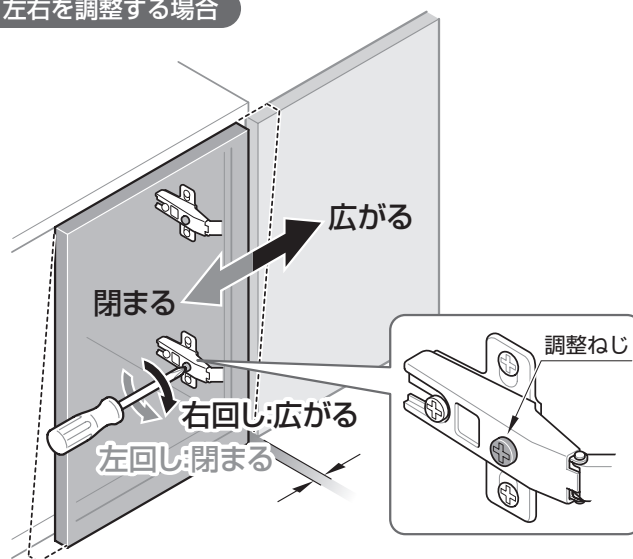
## 5 手洗器キャビネットの調整

### キャビネット扉の調整

前後を調整する場合

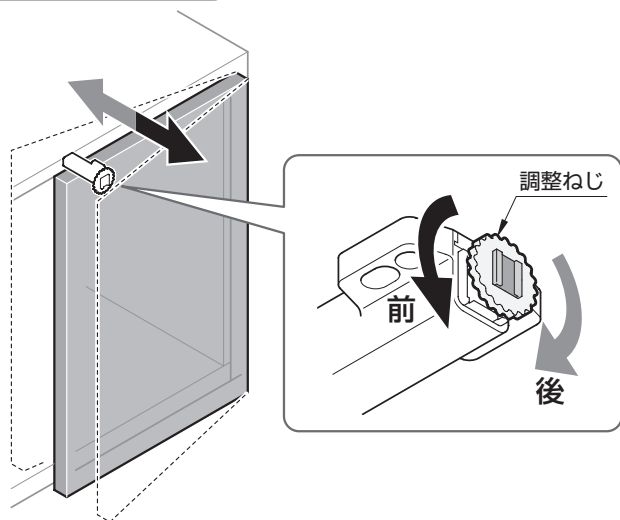


左右を調整する場合



### プッシュラッチの調整

前後を調整する場合



### クッションの張り付け

#### ポイント

張付面は水拭きし、乾燥後張り付ける

扉を開けた時、壁などと当たる場合は張り付ける



「施工説明書」に同梱  
クッション

※お使いにならない場合は、取扱説明書と一緒にお客様に渡してください。

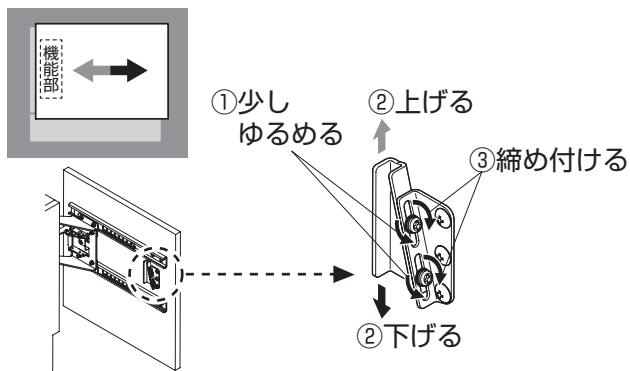
# MEMO

## 6 スライド扉の調整

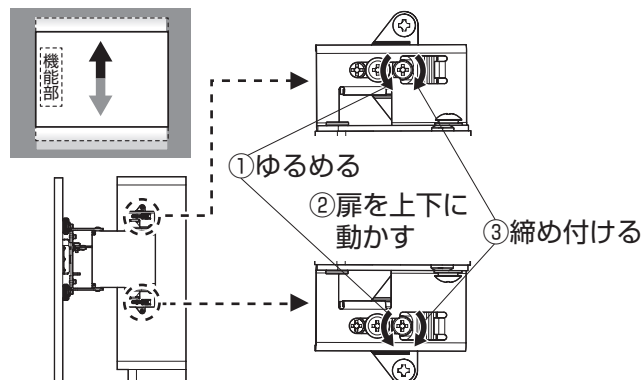
※スライド扉を閉める際、扉が途中で止まる場合は、いったん全開にしてください(表紙参照)。

### 左スライド扉

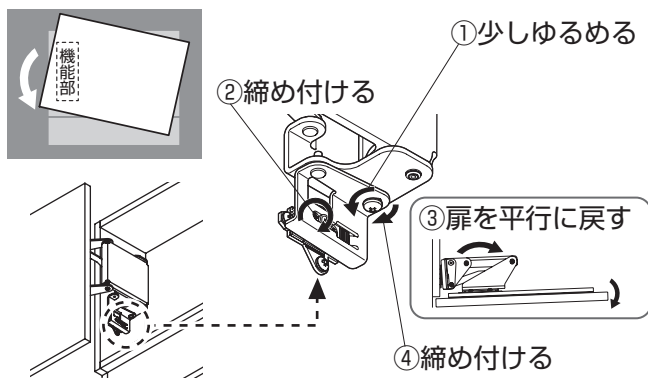
#### 左右に動かす場合



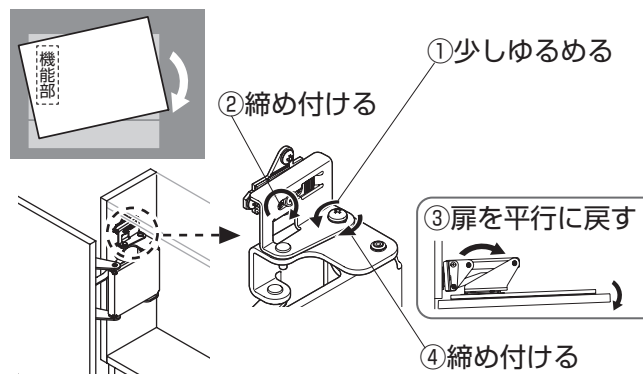
#### 上下に動かす場合



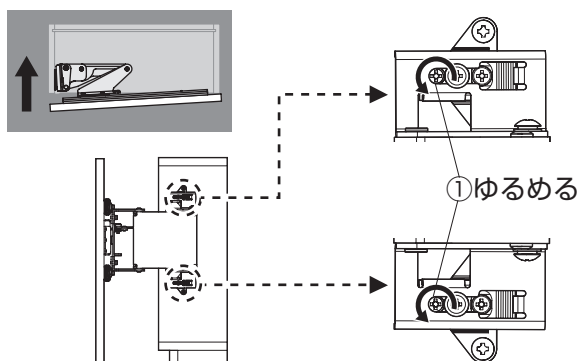
#### 左側を下げる場合



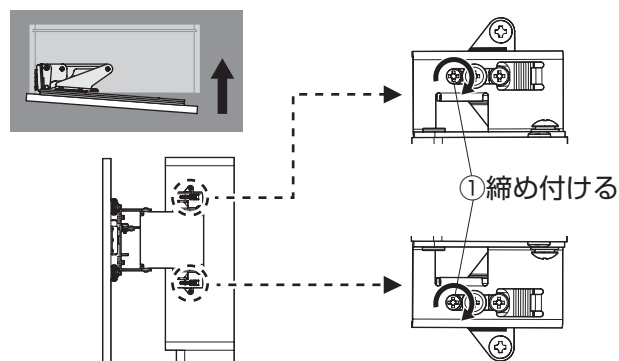
#### 右側を下げる場合



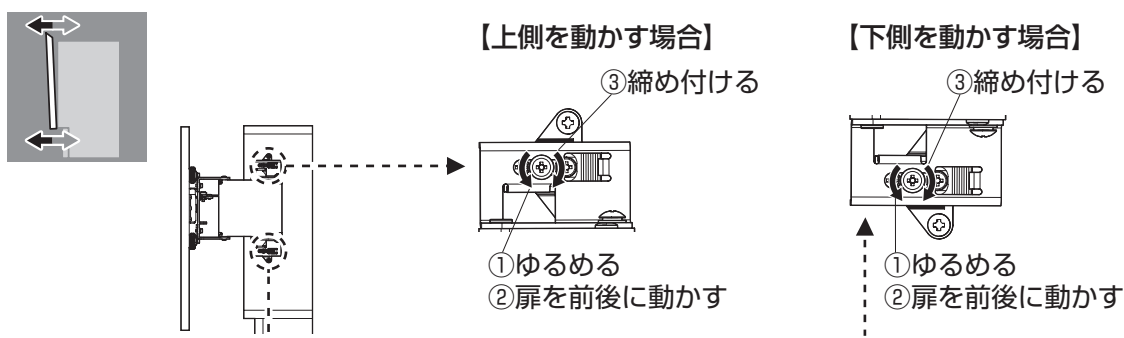
#### 左側にすき間がある場合



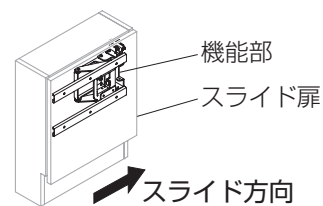
#### 右側にすき間がある場合



#### 上下どちらかを前後に動かす場合

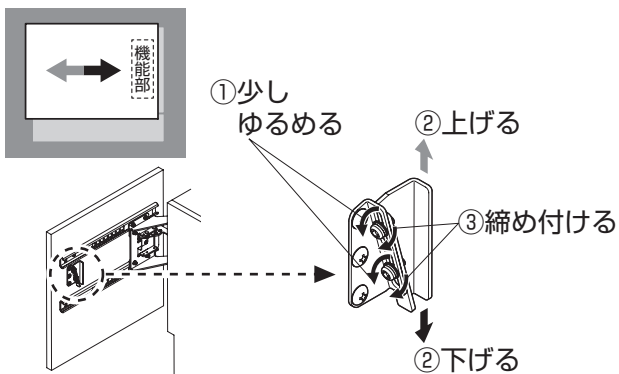


※スライド扉全体を前後に動かす場合は、上側・下側を同時に動かします。

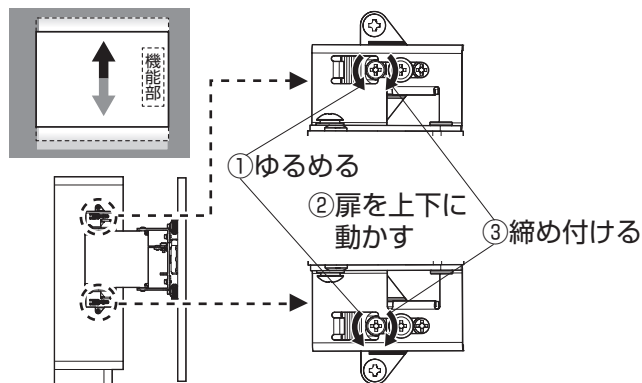


## 右スライド扉

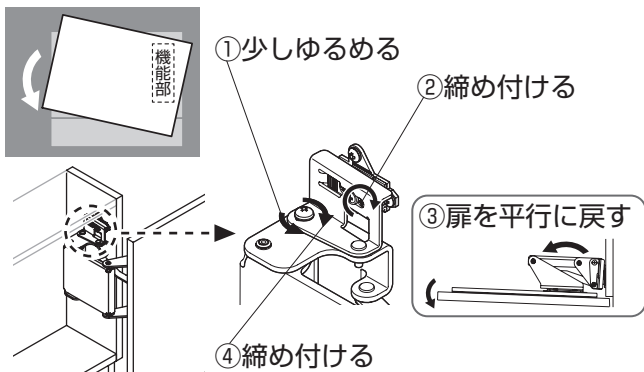
### 左右に動かす場合



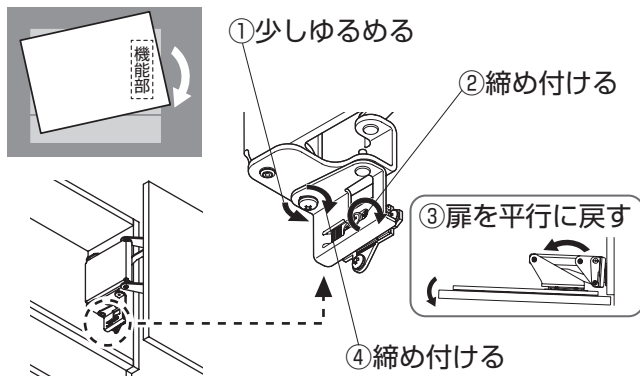
### 上下に動かす場合



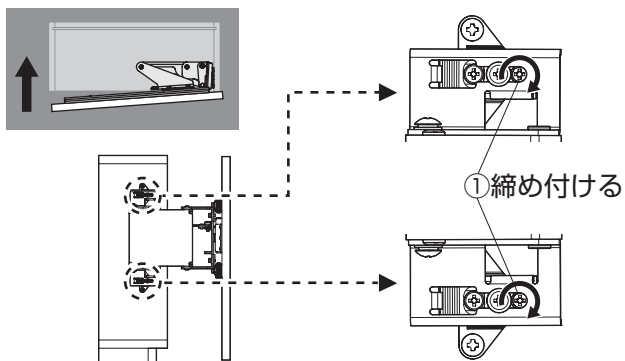
### 左側を下げる場合



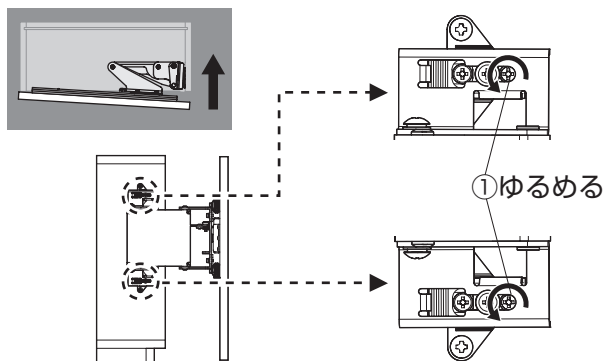
### 右側を下げる場合



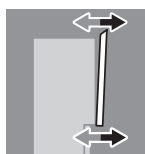
### 左側にすき間がある場合



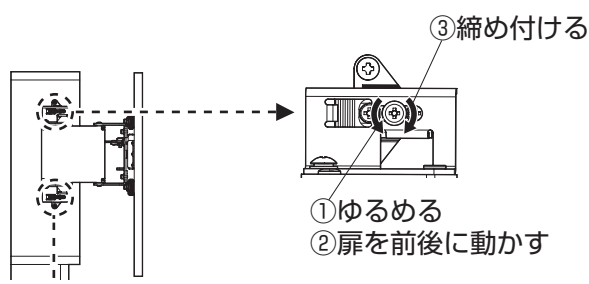
### 右側にすき間がある場合



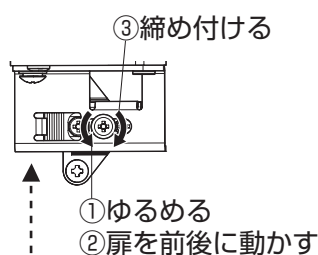
### 上下どちらかを前後に動かす場合



#### 【上側を動かす場合】



#### 【下側を動かす場合】



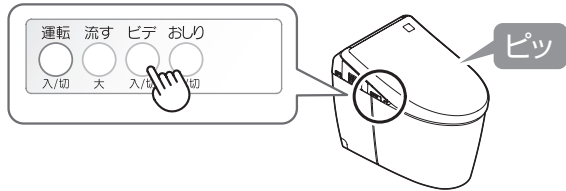
※スライド扉全体を前後に動かす場合は、上側・下側を同時に動かします。



# 12. ビルトインリモコン組み合わせ設定

## 1 ビルトインリモコンの組み合わせ設定

※設定をしないとビルトインリモコンは動作しません。必ず下記の設定を行ってください。



① 電源を入れる。(・ウォシュレット本体  
・ビルトインリモコン)

② ビデ  
入/切 を10秒以上押す。

③ 60秒以内に以降の設定を行う

④ 開/閉 を押す。

⑤ ビデ を10秒以上押す。

「設定が完了しました」と表示

⑥ 終了 を押す。

設定完了

※正常に設定されない場合はもう一度最初からやり直してください。

## MEMO

# 13. 凍結予防の仕方

※凍結が予想される場所でご使用になる場合

## 1 凍結予防の仕方

- ・水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。
  - ・凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
  - ・長期間使用しないときの急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。
  - ・凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- なお、氷点下になる場合は次の処置を実施してください。

### 一般地用をご使用の場合

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、配管部などに保温材を巻くことによって凍結を予防できる場合があります。

### 寒冷地用をご使用の場合

水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず実行ください。

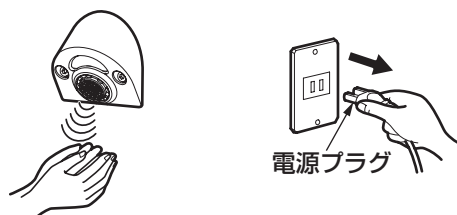
配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

下記の手順に従って水抜きを行ってください。

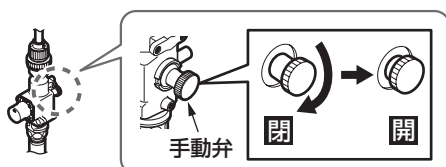
【自動水栓】

#### 水抜きする

- 1 センサーに手をかざして吐水口から水が出ないことを確認し、電源プラグをコンセントから抜く

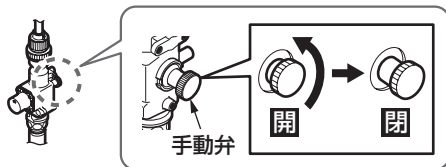


- 2 機能部裏側の手動弁を時計回りに回し、開ける  
2～3分で機能部内の水が抜けます。



※手動弁を回転させにくい場合、ペンチなどを使用してください。

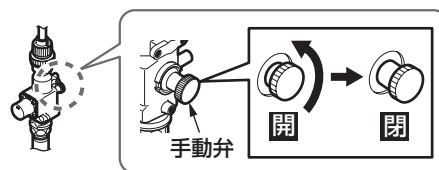
- 3 2～3分後、手動弁を反時計回りに回し、閉める



水抜き完了

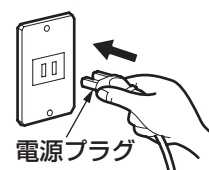
#### 通水を再開する

- 1 手動弁が開まっていることを確認する  
手動弁：1カ所



- 2 電源プラグを差し込む

※水抜き完了後に水を出すと、エアがみにより流れが乱れることがあります。  
その場合は、数回水を出し止めしてください。



【ハンドル式水栓】

準備: 水抜栓(他社製)を排水(水抜)側に切り替える。

(操作方法は水抜栓の取扱説明書参照)

- 1 水栓を開ける(2～3分で水が抜ける)
- 2 水栓を閉める

# MEMO



# MEMO

# MEMO

工事店様へ

このたびはレストルームドレッサー システムシリーズを施工いただきありがとうございました。

UGX1122

